

カリフォルニア大学バークレー校所蔵

光格上皇御点『実勲詠草』解説と三条西実勲文政期和歌年表

盛田 帝子

*キーワード

光格天皇（上皇）・三条西実勲・閑院宮家・有栖川宮家・芝山家

カリフォルニア大学バークレー校所蔵『実勲詠草』の資料的位置づけを行い、光格上皇の門人として宮廷御会に出席・活動していた実勲の文政期の営みを和歌年表として明らかにしようとするものである。

翻刻・校合に用いた資料は、以下の通りである。

一 はじめに

本稿は、海野圭介・大山和哉・来山佳純「カリフォルニア大学バークレー校蔵三条西家旧蔵和歌詠草解説と翻刻（一）——三条西実勲詠草——『国文学研究資料館調査研究報告』（第四十号、二〇二〇年三月）に続き、国文学研究資料館が推進している大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同ネットワーク構築計画」による国際共同研究「UCバークレー校所蔵古典籍資料のインスタレーション・キュレーション」（代表者：ジョンナサン・ズイッカー（カリフォルニア大学バークレー校）、研究期間二〇一八～二〇二〇年）の研究成果の一部として、三条西家第十五代当主実勲（一七八五～一八四五）の文政期の「実勲詠草」を翻刻し、日本国内に残る実勲詠草諸資料と比較検討することによって、

- ① 国立国会図書館所蔵『内裏和歌御会』（請求記号…一二四一二〇二）…文化十五年（文政元年）（一八一八）～文政十三年（天保元年）（一八三〇）。
- ② 国立国会図書館所蔵『仙洞和歌御会』（請求記号…一二四一二〇二）…文化十五年（文政元年）（一八一八）～文政十三年（天保元年）（一八三〇）。
- ③ 宮内庁書陵部所蔵『御会和歌留』（請求記号…有栖一五〇八一）…文化十五年（文政元年）（一八一八）～文政十三年（天保元年）（一八三〇）。
- ④ 東山御文庫マイクロフィルム（光格天皇門人詠草御留 文政年間）（マイクロフィルム番号および書名は各々和歌年表の出典に記載）。

⑤カリフォルニア大学バークレー校所蔵『実勲詠草』一五七通(請求記号…二二五―三三三) (国文学研究資料館マイクロ収集八四六として公開、DOI: 10.20730/100121484)。本稿では、翻刻の際、デジタル公開されている通し番号を()に入れている。

①・②は、国立国会図書館に所蔵されている和歌御会の記録である。①の内、『内裏和歌御会』文化十一年本は、宮廷歌会の一員であった東久世通岑の書写本であり(遊紙表の左肩に「此写筆者東久世通岑卿」と墨書)、注記等から①②は宮廷歌会に出席していた者、もしくはその周辺人物によって書写された写本ということがいえるだろう。③は、靈元天皇の皇子であった有栖川宮職仁親王をはじめとして御所伝受の保持者を輩出した有栖川宮家伝来の写本である。注記から、和歌御会に詠進された詠草を取り集めて、宮中で作成された記録が回覧されてきたものを書写していると考えられる。④は、光格上皇が、門弟の詠草に添削した内容を詠草とともに、手控えとして歌会ごとに記録したものである。光格上皇の宸筆。対して、⑤は、実勲が詠進し光格上皇から添削・合点を施されて返却された和歌懐紙となる。

①⑤を、宮廷歌会の記録が出来上がる順序でみてゆくと、宮廷歌会に詠進することを光格上皇から許可された実勲が、清書した詠草懐紙を師である光格上皇に提出し、光格上皇が宮廷歌会に提出してもよい和歌に合点と添削を施して実勲に返却した懐紙が⑤カリフォルニア大学バークレー校所蔵『実勲詠草』一五七通、光格上皇が弟子たちに施した添削

内容を歌会ごとに整理して記録したものが④東山御文庫マイクロフィルム(光格天皇門人詠草伺御留 文政年間)。実勲は⑤をもとに、詠草を清書し宮廷歌会に詠進。歌会終了後、詠進されたすべての詠草が取りまとめられて記録され、和歌御会記録として各家に回覧され、書写されたものが①国立国会図書館所蔵『内裏和歌御会』・②国立国会図書館所蔵『仙洞和歌御会』・③宮内庁書陵部所蔵『御会和歌留』(請求記号…有栖一五〇八一)という流れになる。

二 カリフォルニア大学バークレー校所蔵『実勲詠草』の概要について

C・Vスター東アジア図書館に所蔵される日本の古典籍の由来と全体像およびカリフォルニア大学バークレー校(以下、「UCB」と記す)に移管された三井家旧蔵本については、既に、海野圭介・大山和哉・来山佳純「カリフォルニア大学バークレー校蔵三条西家旧蔵和歌詠草解説と翻刻(一)―三条西実教詠草」(『国文学研究資料館調査報告書』第四十号)に記載されているように長谷川強・渡辺守邦・伊井春樹・日野龍夫・小倉親雄「カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫写本目錄稿」(『国文学研究資料館調査報告』五、一九八四年三月)、岡雅彦・戸沢幾子・石松久幸・児玉史子「カリフォルニア大学バークレー校所蔵三井文庫旧蔵江戸版本書目」(ゆまに書房、一九九〇年)に詳しい。ここでは、三井家旧蔵本の一部として所蔵されていた三条西家旧蔵『実勲

詠草』⑤)を取り上げ、その概要について述べてゆく。

三条西実勲は、光格天皇(上皇)から宮廷歌会の一員として和歌御会に詠進することを認められた宮廷歌人である。④東山御文庫マイクロフィルム(光格天皇門人詠草御留 文政年間)等一連の資料および⑤UCB所蔵『実勲詠草』一五七通より、光格天皇に歌道入門し添削を受けていたことが明らかになった。⑤UCB所蔵『実勲詠草』一五七通は、実勲が宮廷歌会に詠進する前に、一つの題につき二首〜三首を光格上皇に提出し、光格上皇から添削・合点を施されて返却された懐紙、各家の歌会に詠進する前に光格上皇から添削・合点を施されて返却された懐紙、下見の師より添削・合点を施されて返却された懐紙、依頼された詠草の下書き等から成る。各懐紙は、年代順に並んでいるわけではない。以下、いくつか具体的にみてゆく。

例えば、前関白一条忠良(文政六年三月関白を辞退)の主催する一条家歌会に詠進した際の以下の記録がある(新日本古典籍総合データベース『実勲詠草』通し番号十三。以下、通し番号のみを記す)。光格上皇の合点がある場合には、光格上皇の添削や批言をポイントとして落として翻刻する。以下同じ。

実勲上

前関白家会始

花有歎色

へとし毎にいろそめまして

咲にほふ花は幾世の

春にさかへむ

さき匂ふ花にかぞへむ

万代のはるもふりせぬ

色とこそみれ

実勲は、「花有歎色」という題につき二首の詠草を光格上皇に提出したが、光格上皇は、端の歌の二句目「いろそめまして」の「そめまして」を「もまさりて」に添削して合点を施している。実勲は、この端の歌を清書して一条家歌会に提出したことになる。このように、宮廷歌会に詠進する時のみならず、一条家の歌会に詠草を提出する際にも、光格上皇が実勲の詠草に目を通し添削を施していたことが知られるのである。『実勲詠草』の中には、光格上皇以外の添削資料も含まれている。文化期の詠草懐紙も含めて、以下にいくつか例を掲げてみたい。

文化二年八月二十六日(九〇・九二)

芝山家

当座

実勲

家内々当座

夕梅

へ山里のしづが軒端に

さく梅の匂ひを四方に

送る夕かせ

実勲

へ夜ひのまの浦風さえし

此朝けいそ山かけて

つものしら雪

きえやらぬ雪かと見えて

此夕そことしらねど

匂ふ梅が、

わかぬ浦やしほれうきふす

芦の葉に雪ふりつもる

けさのしろたへ

文化二年八月二十六日に芝山家で開催された内々の当座歌会に実勲が
出座した際の記録である。実勲の署名に「上」がないので、合点は光格
天皇に施されたものではなく、身分的に実勲と対等の歌人か、それ以下
の歌人から施された合点であることが知られる。光格天皇の他の門弟の
状況から類推すれば、宮廷歌会に詠進する詠草を、光格天皇に提出する
前に下見をしていた師である可能性が高い。実勲の詠草を添削している
歌人は、芝山家の当座歌会に居合わせた歌人である可能性が高いが、現
在のところ詳細は不明である。

文化三年二月二十五日（一三二・一三三）

尹宮

聖廟御法楽

尹宮は閑院宮美仁親王（文化三年時点で彈正尹）。美仁親王は、閑院
宮典仁親王の王子で、第三代閑院宮家当主。光格天皇よりも十四歳年長
の異母兄で、天明期の光格歌壇の濫觴期に光格天皇を支え、共に『詠歌
大概』の読み合わせをしたり、光格天皇が歌道門人の詠草を添削する前
に下見をしたりするなどして、光格天皇を補佐してきた（盛田帝子「光
格天皇歌壇の形成」『近世雅文壇の研究―光格天皇と賀茂季鷹を中心
に―汲古書院、二〇一三年）。光格天皇の弟子であった実勲は、閑院
宮美仁親王が主催する聖廟御法楽にも和歌を詠進していたことが知られ
る。

文政七年三月廿六日（四七・四八）

中務卿宮御当座始

実勲

山路時雨

へ朝まだき風にさきだつ

むらしぐれ四方の山路を

過るうき雲

旅人のわくる山路の

風さむみ空さだめなく

時雨ふる也

中務卿宮は、有栖川宮^{つなみ}留仁親王（文化九年十一月七日、中務卿に任ぜられる）。留仁親王は、有栖川宮第六代織仁親王の第二王子として誕生。文化九年二月、家督を相続して有栖川宮第七代となる。文化七年正月、二十七歳で光格天皇に歌道入門。文政三年二月十日、光格上皇より天仁遠波伝受を相伝され、十六日、光格上皇より諸家の和歌添削をすることを許されている。文政四年十一月十七日、閑院宮孝仁親王より閑院宮の和歌門人の詠草下見添削の事を依頼されるが、その中に、光格上皇の御点下見の列として三条西実勲も含まれていた（『留仁親王行実』ゆまに書房、二〇一二年）。従って、閑院宮美仁親王が文政元年十月に薨去し、その王子の孝仁親王が閑院宮四代となつてから文政四年十一月十六日まで、実勲は閑院宮孝仁親王より光格上皇の御点下見を受けていたが、十一月十七日より、有栖川宮留仁親王の下見を受けるようになったこ

とが知られる。したがって、文政七年有栖川宮家御当座始の本詠草懐紙の添削と合点も、有栖川宮留仁親王のものであることが知られる。この時、留仁親王は四十一歳。

このように、実勲は、内裏和歌御会、仙洞和歌御会などの宮廷歌会以外にも、一条家歌会、芝山家歌会、閑院宮家歌会、有栖川宮家歌会に詠進しており、その際には、光格天皇（上皇）以外の下見の師の添削を受けていることが知られる。

なお、歌会に詠進する以外の次のような添削詠草懐紙も含まれている。

実勲（一三七）

菓子銘

春の宿

へ風さそふはなのみやこの

はるの宿よみに名だかく

香に、ほふなり

長き日をたゞ花鳥の

ながめしてのどかにおくる

春のやどかも

菓子銘「春の宿」で詠んだ詠草二首である。歌の師から、端の歌の結句「香に、ほふなり」を「香に、ほふらし」に添削されて合点を付され

ている。おそらくは、請われて詠んだ歌であろうが、このような場合にも、歌の師に添削を受けていることが知られる。このような例は、他にも「香之銘 虫の音」(二三八)、「白粉銘 梅が香」(二三九)、「酒之銘 春の風」(二七二)、「舟之銘 風吉丸」(二七四)が見られる。

このように、⑤UCB所蔵『実勲詠草』一五七通からは、宮廷歌人として活動していた実勲の歌人としての軌跡がうかがわれるとともに、光格天皇(上皇)の添削指導の実態や、光格歌壇の裾野の広がりを見ることができる。

〔付記〕

本稿は、文部科学省大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史の典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(実施主体・国文学研究資料館、計画期間二〇一四年度～二〇二三年度)による国際共同研究「UCBパークレー校所蔵古典籍資料のインスタレーション・キュレーション」(代表者・ジョン・ズイッカー(カリフォルニア大学パークレー校)、研究期間二〇一八～二〇二〇年、三条西家旧蔵資料に関する研究の担当者、マルラ俊江(UCB C・Vスター東アジア図書館)、海野圭介(国文学研究資料館)、大山和哉(同志社大学)、盛田帝子(大手前大学)、およびJSPS科研費「幕末維新时期における天皇歌壇を中心とする文芸ネットワークの研究」(17K02479)による研究成果の一部である。

貴重な資料の調査と研究に御助力を賜りましたUCB C・Vスター東アジア図書館、および同図書館日本担当司書マルラ俊江氏、宮内庁書

陵部、国立国会図書館古典籍資料室に深謝申し上げます。

〔凡例〕

- ・翻刻は、年月日・年齢・御会名・場所・歌題・三条西実勲詠草・題者・奉行・その他の諸役・出典・備考の順に示す。
- ・カリフォルニアパークレー校所蔵『実勲詠草』(国文学研究資料館マイクロ収集846)の翻刻は、署名・御会名・題・詠草の順に翻刻した。
- ・詠草は、原本の行配りは反映せず追いつみで翻刻し、濁点を付した。
- ・旧字は通行の字体に改めた。
- ・〔 〕内は割注である。

・歌に付された光格上皇の合点は(光格合点)、批言は《 》によって示した。

・添削資料の場合は、光格天皇添削後の本文を添削箇所のおすぐ後に()で示した。

・破損や虫損で判読できない部分は□を用いて示した。
・繰り返し出てくる出典は以下のように略して示した。

国立国会図書館所蔵『内裏和歌御会』↓国会本内裏
国立国会図書館所蔵『仙洞和歌御会』↓国会本仙洞
宮内庁書陵部所蔵『御会和歌留』↓有栖川宮本

〔三条西実勲和歌年表一文政期編〕

年月日	年齢	御会名	場所	歌題	三条西実勲詠草および事項	題者	奉行	その他の諸役	出典	備考：署名、注記等	UCB所蔵「実勲詠草」(国文学研究資料館マイクログラフ446)。()内は、新日本古典籍総合データベース画像の連し番号
文化15年1月18日	34歳	和歌御会始	仙洞	霽添春色気	きみが代のつきせぬ春のいろかへてよにもにかすみのにほふとのけさ	民部卿〔冷泉為則卿〕	民部卿〔冷泉為則卿〕	読師：權大納言〔大炊御門経久卿〕、講師：雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕、発声：源中納言〔庭田重能卿〕	国会本仙洞・有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲	
文化15年1月24日	34歳	御会始	内裏	貴賤迎春	くらみやまたかきいやしきみちみちへだてずむかふちよのほつはる	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	読師：中山大納言〔志願卿〕、講師：光成〔廣橋弁〕、発声：綾小路三位〔有長卿〕	国会本内裏・有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲	
文化15年2月11日	34歳	当座御会	内裏	組題30首(1~3字題) 藤	なみかすむ春のみいけにさくふちのえならぬ花のさかりをぞみる	冷泉前大納言〔為章卿〕	万里小路中納言〔建房卿〕	講師：雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕	国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文化15年2月18日	34歳	(有栖川宮)御会始	有栖川宮	竹裏鶯	花もあれただけの葉やまのかげしめてはるをたのしうぐひすのこゑ	左衛門督	寧伊	講師：中山大納言、読師：重基朝臣、発声：綾小路三位	有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲	
文化15年2月20日	34歳	当座御会	仙洞	組題30首(2字題) 早梅	うらつむ雪のこずゑにさきそめてあらしにほふちの梅が枝	雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕	源中納言〔庭田重能卿〕	講師：雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕	国会本仙洞・有栖川宮本	実勲	
文化15年2月22日	34歳	水無瀬宮御法楽	内裏	組題20首(1~3字題) 干鳥	たされば河かせむむ行かへりなくやちりの声そみに咲	冷泉前大納言〔為章卿〕	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	講師：経則〔勤修寺弁〕	国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文化15年2月22日	34歳	水無瀬宮御法楽	仙洞	組題3首(1字題) 花	咲にほふ花もかすむてのどかにもさかりふりせぬやまとの春	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	講師：光成〔広橋弁〕	国会本仙洞・有栖川宮本	実勲、詠草右上に「後日刷改(墨書)」と注有(有栖川宮本)	
文化15年2月24日	34歳	月次御会	内裏	組題100首(1~2字題) 鶯	くれたけのやどりも梅の花のかにさそはれさめる枝のうぐひす	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文化15年2月25日	34歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(2~3字題) 春山田	此ごほせかでもますやはるの雨のふるのやま田のなほしろのみづ	冷泉前大納言〔為章卿〕	源中納言〔庭田重能卿〕	雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕	国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文化15年2月25日	34歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(1~3字題) 柳	つき花のなごりかすめるあけぼのはさすがにかりもみておむらし	冷泉前大納言〔為章卿〕	万里小路中納言〔建房卿〕	基仲朝臣〔東園頭中侍〕	国会本仙洞・有栖川宮本	実勲	
文化15年2月28日	34歳	当座御会	内裏	組題20首(2~3字題)	詠進なし	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕		国会本内裏・有栖川宮本		
文化15年3月7日	34歳	当座御会	仙洞	組題20首(2字題)	詠進なし	冷泉前大納言〔為章卿〕	万里小路中納言〔建房卿〕		国会本仙洞・有栖川宮本		
文化15年3月14日	34歳	月次御会	内裏	組題1首(1字題)	詠進なし	雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕	右衛門督〔齋尾隆純卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲	
文化15年3月24日	34歳	和歌当座御会	内裏	組題20首(1~2字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為則卿〕	右兵衛督〔藤谷為尙卿〕		国会本内裏・有栖川宮本		
文化15年4月8日	34歳	神影供	仙洞	組題1首(1字題)	詠進なし	冷泉前大納言〔為章卿〕	源中納言〔庭田重能卿〕	読師：花山院大納言〔家厚卿〕、講師：光成〔広橋弁〕、発声：綾小路三位〔有長卿〕	国会本仙洞・有栖川宮本		
文政1年4月28日	34歳	月次御会	内裏	組題100首(2~4字題) 池	月はまだやどらぬいけのうきにすだく虫のひかりすゞき	民部卿〔冷泉為則卿〕	万里小路中納言〔建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政1年5月21日	34歳	当座御会	仙洞	組題30首(2~3字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為則卿〕	右兵衛督〔藤谷為尙卿〕		国会本仙洞・有栖川宮本		
文政1年5月24日	34歳	月次御会	内裏	組題1首(1字題)	實草：しげるとはらはぬ花のなつさはさきいでん花の秋をこそまて、虫：おちたぎつなみにみだれてすゞしきもいとさらすはたるとぶかば、旅行：ゆきくらく、おなじたびぬの筆まくらもむにかたしく拙ぞ書けき	民部卿〔冷泉為則卿〕	右衛門督〔齋尾隆純卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲	
文政1年5月25日	34歳	和歌当座御会	内裏	組題30首(2字題) 夏鳥	つねまつころもありにしきふるすつきそらの山ほととぎす	為全朝臣〔冷泉侍従〕	右衛門督〔齋尾隆純卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政1年6月24日	34歳	月次御会	内裏	組題100首(2~3字題) 橘	さすがえちぎりたえすずまさかにはとる人のなをけをぞしる	雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政1年6月25日	34歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(2字題) 旅泊	聞なれぬまくらにのみのおと絶すしほしわすれてみるゆめもがな	民部卿〔冷泉為則卿〕	右兵衛督〔藤谷為尙卿〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本仙洞・有栖川宮本	実勲	
文政1年6月25日	34歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(2~3字題) 閑	人とはぬよにしづかにもすむいほのこころの友とむか屋木	民部卿〔冷泉為則卿〕	万里小路中納言〔建房卿〕	講師：俊明朝臣〔坊城頭弁〕	国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政1年7月7日	34歳	七夕御会	内裏	組題1首(1字題)	七夕喜晴 たなばたのうきせわすれてゆきあひのそらにうれしほしやあふらん	民部卿	為尙		国会本内裏・有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲、有栖川宮本では下句が「はるよすましあまのかわがぜ」とある。	
文政1年7月24日	34歳	月次御会	内裏	組題1首(1字題)	女郎花、秋風、寄糸恋	為全朝臣〔冷泉侍従〕	右衛門督〔齋尾隆純卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲	
文政1年8月24日	34歳	月次御会	内裏	組題100首(2~4字題) 田	いな葉ふく秋かせむし小山田に露しくこのつきやみ家月	民部卿〔冷泉為則卿〕	右衛門督〔齋尾隆純卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政1年8月28日	34歳	当座御会	内裏	組題20首(2字題) 恋閑	よるるはわれをへだてたれも又とくさきぞ下ひものせき	民部卿〔冷泉為則卿〕	万里小路中納言〔建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政1年9月9日	34歳	重陽御会	内裏	組題1首(1字題)	菊花久綴 ちぎりく花に八ちよのかずみせてにはほふむさし秋のしらぎく	冷泉前大納言〔為章卿〕	民部卿〔冷泉為則卿〕		国会本内裏・有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲詠	
文政1年9月24日	34歳	月次御会	内裏	組題1首(1字題)	秋時雨、紅葉、海辺朝 秋時雨：秋もはやす五野のあらしおとたてささふしこれの雲にたよふ、紅葉：下葉までいしほそめし露しもにれなあふかき舞なびのり、海辺朝：うらなみのみるめはれたる朝なまにまちかくむかふおきつしま山	為全朝臣〔冷泉侍従〕	雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕		国会本内裏・有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原実勲	
文政1年10月24日	34歳	月次御会	内裏	組題16首(1~4字題)	詠進なし	雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕		国会本内裏・有栖川宮本		
文政1年12月28日	34歳	月次御会	内裏	組題100首(かな題)	詠進なし	左衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	民部卿〔冷泉為則卿〕		国会本内裏・有栖川宮本		
文政2年1月18日	35歳	御会始	仙洞	天明有晴声	詠進なし	左衛門督〔明日香井雅光卿〕	権中納言〔庭田重能卿〕	読師：中山大納言〔志願卿〕、講師：光成〔広橋中弁〕、発声：左衛門督〔明日香井雅光卿〕	国会本仙洞・有栖川宮本		
文政2年後4月16日	35歳	水無瀬宮御法楽	仙洞	組題20首(2~4字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為則卿〕	権中納言〔藤尾隆純卿〕	雅久朝臣〔明日香井侍従〕	国会本仙洞・有栖川宮本		

文政2年 後4月20日	35歳	聖廟御法 案〔去二月 廿五日御延 引〕	仙洞	組題50首(3 字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	講師：顕孝〔兼室権右中弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政2年 後4月21日	35歳	和歌当座御 会	仙洞	組題30首(2 字題)	詠進なし	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	講師：顕孝〔兼室権右中弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政2年 5月2日	35歳	御会始	内裏	寄世祝言	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	雅久〔明日井侍 従〕	読師：中山大納言〔宗頼卿〕、講 師：顕孝〔兼室権右中弁〕、発声： 権中納言〔庭田重能卿〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 5月9日	35歳	当座御会	内裏	組題30首(3 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 5月21日	35歳	和歌当座御 会	内裏	組題20首(2 字題)	詠進なし	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 5月22日	35歳	水無瀬宮御 法案〔去二 月分〕	内裏	組題20首(1 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	講師：雅久朝臣〔明日香井侍従〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 5月24日	35歳	月次御会	内裏	組題100首(2 字題)	詠進なし	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	権中納言〔庭田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 5月25日	35歳	聖廟御法 案〔去二 月分〕	内裏	組題50首(1 字題)	詠進なし	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕	顕孝〔兼室権右中弁〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 6月24日	35歳	月次御会	内裏	夕立雲、松下 水、後朝恋	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 6月25日	35歳	聖廟御法 案	仙洞	組題10首(2 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔明日 香井侍従〕	右兵衛督〔藤谷 為脩卿〕	講師：光成〔広橋右中弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政2年 6月25日	35歳	聖廟御法 案	内裏	組題10首(2 字題)	詠進なし	為全朝臣〔為全 朝臣〕	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 7月7日	35歳	七夕御会	内裏	七夕草花	詠進なし	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 7月24日	35歳	月次御会	内裏	組題100首(3 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔明日 香井侍従〕	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 8月16日	35歳	当座御会	内裏	組題20首(3 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔明日 香井侍従〕	権中納言〔庭田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 8月24日	35歳	月次御会	内裏	秋夕露、水上 月、風前雁	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	雅久朝臣〔明日 香井侍従〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 9月9日	35歳	重暉御会	内裏	月照菊	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 9月13日	35歳	当座御会	仙洞	組題20首(3 字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政2年 9月18日	35歳	神影供	仙洞	菊花露芳	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	読師：花山院大納言〔家厚卿〕、 講師：為全朝臣、発声：持明院 三位〔基延卿〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政2年 9月24日	35歳	月次御会	内裏	組題100首(3 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 9月30日	35歳	当座御会	内裏	組題30首(1 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	講師：光成朝臣〔廣橋頭弁〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 10月7日	35歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	繁尾中納言〔隆 純卿〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政2年 10月24日	35歳	月次御会	内裏	十月月紅葉、 残菊留秋、浦 松風	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	権中納言〔庭田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 11月24日	35歳	月次御会	内裏	組題100首(1 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔明日 香井侍従〕	民部卿〔冷泉為 則卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 12月7日	35歳	和歌当座御 会	仙洞	組題30首(1 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔明日 香井侍従〕	民部卿〔冷泉為 則卿〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政2年 12月24日	35歳	月次御会	内裏	鷹狩、埋火、 衣衣	詠進なし	左衛門督〔明日 香井雅光卿〕	右兵衛督〔藤谷 為脩卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 12月25日	35歳	和歌当座御 会	内裏	組題30首(2 字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	民部卿〔冷泉為 則卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政2年 1月18日	36歳	和歌御会始	仙洞	松有春色	詠進なし	為全朝臣	繁尾中納言〔隆 純卿〕	読師：花山院大納言〔家厚卿〕、 講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕、発 声：綾小路三位〔隆長卿〕、總者： 為全朝臣、奉行：繁尾中納言〔隆 純卿〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政3年 1月24日	36歳	和歌御会始	内裏	江上春望	詠進なし	雅久朝臣	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	読師：一位〔廣橋胤定卿〕、講師： 雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕、発声： 持明院三位〔基延卿〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 2月4日	36歳	当座御会	内裏	組題30首(2 字題)	詠進なし	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 2月25日	36歳	聖廟御法 案	仙洞	組題50首(2 字題)	詠進なし	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	顕孝〔兼室弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政3年 2月25日	36歳	聖廟御法 案	内裏	組題50首(2 字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	民部卿〔冷泉為 則卿〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 2月28日	36歳	月次御会	内裏	組題20首(1 字題)	詠進なし	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	右衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 3月20日	36歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕	講師：光成朝臣〔廣橋頭弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政3年 3月22日	36歳	水無瀬宮御 法案〔去二 月分〕	内裏	組題20首(3 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	右兵衛督〔藤谷 為脩卿〕	講師：顕孝〔兼室弁〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 3月24日	36歳	月次御会	内裏	藤、蛙、舟	詠進なし	冷泉 前大納言 〔為章卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 3月28日	36歳	神影供	仙洞	社頭桜花	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	読師：甘露寺前大納言〔国長卿〕、 講師：隆光〔柳原弁〕、発声：左 衛門督〔飛鳥井雅光卿〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政3年 4月11日	36歳	水無瀬宮御 法案〔去二 月分〕	仙洞	組題20首(1 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕	講師：隆光朝臣〔柳原弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政3年 4月28日	36歳	月次御会	内裏	組題100首(2 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	繁尾中納言〔隆 純卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 5月4日	36歳	和歌当座御 会	内裏	組題20首(1 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	繁尾中納言〔隆 純卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 5月24日	36歳	月次御会	内裏	夏月、夏花、 夏虫	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 6月24日	36歳	月次御会	内裏	組題100首(2 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 6月25日	36歳	聖廟御法 案	内裏	組題50首(1 字題)	詠進なし	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕	講師：隆光〔柳原弁〕	国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 6月25日	36歳	聖廟御法 案	仙洞	組題50首(1 字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	
文政3年 7月7日	36歳	七夕御会	内裏	星河秋興	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	権中納言〔庭田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 7月24日	36歳	月次御会	内裏	竹露、聞鹿、 秋恋	詠進なし	雅久朝臣	権中納言〔庭田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 8月24日	36歳	月次御会	内裏	組題100首(2 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	民部卿〔冷泉為 則卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	
文政3年 8月28日	36歳	当座御会	内裏	組題20首(2 字題)	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	

文政3年 8月30日	36歳	当座御会	仙洞	組題20首(2 ~3字題) 辰 泊浪	湊江にいくよか同じち枕 問はげしき浦浪の声	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	源中納言〔鹿田 重能卿〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政3年 9月9日	36歳	重権御会	内裏	对菊契久	詠進なし	民部卿〔冷泉為 則卿〕	鷹尾中納言〔隆 純卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政3年 9月13日	36歳	和歌当座御会	内裏	組題30首(3 ~4字題) 月 朧千秋	いくちの秋をちぎりてあふ ぎみんくもにすめるつきの まな	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	右兵衛督〔藤谷 為修卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政3年 9月24日	36歳	月次御会	内裏	月前紅葉、瀧 辺紅葉、紅葉 交松	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	権中納言〔鹿田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政3年 10月24日	36歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~5字題) 夕 雪	まつにふくあらしのおともう づもれてゆふべしづき雪 の山とぞ	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	右兵衛督〔藤谷 為修卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御月次・ 夕雪・みねしろのくみや く雪のゆふくればはめな れぬをちの山もまぢか き。(光格合点) 松にふ くあらしの音もうづもれ て夕しづき雪のやま (28)
文政3年 10月26日	36歳	和歌当座御会	内裏	組題20首(3 字題) 山泉水	ながれるかけひのみづの おと絶す間もさびしきや まへのいほ	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政3年 10月30日	36歳	当座御会	仙洞	組題20首(3 字題) 恨人恋	人よれらうらみのはては着 ゆきにかれやはつべきを かのくすはら	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	民部卿〔冷泉為 則卿〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	実勲上・御当座・恨人 恋。(光格合点) 人よ れらうらみし(の)はて は着ゆきにかれやはて なん(つべき)をかか ずはら。契りに人のこ ろのおさ風につら思ひ のうらみはける(25)
文政3年 11月24日	36歳	月次御会	内裏	夜露、雪、旅 行	詠進なし	冷泉前大納言 〔為章卿〕	権中納言〔鹿田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政3年 12月24日	36歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題) 遇 恋	うちとけてあふよもそでか はかしなげけんかれを おふなみに	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	権中納言〔鹿田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政3年 12月25日	36歳	当座御会	内裏	組題30首(2 ~3字題) 杜 納涼	あつきひのかげをへだて たちならぶすまじあかぬ りの下かせ	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	権中納言〔鹿田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御当座・ 杜納涼。(光格合点) あつきひの影をへだて 立ならぶすまじあかぬ 杜の下かせ(ぜ)、夏 ごろもおつるしづくに たぬるゝすまじあかぬ りの木がくれ(49)
文政3年 12月28日	36歳	和歌当座御会	仙洞	組題30首(2 ~3字題) 岸 卯花	吹風のよする川せの浪の色 にあらそひさけるさしの卯 花	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	右兵衛督〔藤谷 為修卿〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政4年 1月18日	37歳	御会始	仙洞	池水浪静	詠進なし	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕	講師：冷泉前新大納言〔為則卿〕、 講師：顕孝〔葉室弁〕、 発声：持明院三位〔基延卿〕	国会本仙洞・有栖川宮 本		
文政4年 1月24日	37歳	御会始	内裏	鶯為春友	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	権中納言〔鹿田 重能卿〕	講師：冷泉前新大納言〔為則卿〕、 講師：光成朝臣〔廣橋頭井〕、 発声：綾小路三位〔有長卿〕	国会本内裏・有栖川宮 本		
文政4年 1月26日	37歳	和歌当座御会	内裏	組題30首(1 ~3字題) 萩	をく露をしはともめずふさ しほるかせのやどりの庭の おきはら	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	講師：隆光〔柳原弁〕	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政4年 1月28日	37歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 ~3字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	坊城中納言〔俊 明卿〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本仙洞・有栖川宮 本		
文政4年 2月28日	37歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~3字題) 池 蛙	すざびあるいけのかはつ なく声もこと葉のたねとあ かすまじ	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御月次・ 池蛙。(光格合点) す ざびあるいけの蛙のな く声もこと葉のたねとあ かすまじ。くればはつ をかはつぬにたて、 池のみぎはおしみてぞ 鳴。うき草ははらはぬ 庭の池水にすだく夕の くれの声(148)
文政4年 3月22日	37歳	水無瀬宮法 案〔去二月 御送引〕	内裏	組題20首(2 字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	講師：共福〔清閑寺弁〕	国会本内裏・有栖川宮 本		
文政4年 3月24日	37歳	月次御会	内裏	桜、恋、雉	桜：うへもなきくもにさける さくら花きみがちとせの春 やかさねん、雉：をのが す野べもさだめずねにた てなくやきすのつぎをこ ふらん、恋：さろから末 やまはよつみそむるたも にかへこひ草の露	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中將藤原 実勲	
文政4年 3月25日	37歳	聖廟御法 案〔去月御 送引〕	内裏	組題50首(2 字題)	詠進なし	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	右兵衛督〔藤谷 為修卿〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本内裏・有栖川宮 本		
文政4年 4月10日	37歳	水無瀬宮法 案〔去二 月分〕	仙洞	組題20首(2 字題)	詠進なし	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	為全朝臣〔冷泉 侍従〕	講師：顕孝〔葉室弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本		
文政4年 4月18日	37歳	神影供	仙洞	夏山残花	詠進なし	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	講師：徳大寺大納言〔東賢卿〕、 講師：雅久朝臣〔飛鳥井侍従〕、 発声：綾小路三位〔有長卿〕	国会本仙洞・有栖川宮 本		
文政4年 4月20日	37歳	聖廟御法 案〔去二 月分〕	仙洞	組題50首(3 ~5字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 新少将〕	権中納言〔鹿田 重能卿〕	講師：為全朝臣〔冷泉侍従〕	国会本仙洞・有栖川宮 本		
文政4年 4月24日	37歳	月次御会	内裏	組題100首(3 ~4字題) 月 毎秋友	秋ごとにかはらぬよはの友 とみんころもすめるつきの さやけさ	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御月次・ 月毎秋友。(光格合点) あき毎にかはらぬ夜半 の友とみんころもすめ る月のさやけさ。あか ざるいく秋あかぬ友な れや雲井の月万代のかけ (101)
文政4年 5月4日	37歳	和歌当座御会	内裏	組題20首(3 字題) 鵜河笛	つきをそきた山かげの大 井川うぶねのかまりみえて すよし	雅久朝臣〔飛鳥 井侍従〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政4年 5月13日	37歳	和歌当座御会	仙洞	組題30首(1 ~4字題) 迹 櫻	あつめみる窓の望のひかり より人にはちぬるくらさを	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	為全朝臣〔冷泉 新少将〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政4年 5月24日	37歳	月次御会	内裏	蘆橋、水鏡、 海辺	蘆橋：雨はる露もすしく 夕かげにとほれてにほふ きのたち花。水鏡：あけよ とやさしてつきみまきの をたくはよはのくぬなる らし。海辺：うみごしの山 もまぢかくみえそめて 明行なみにうかぶこくも	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中將藤原 実勲	

文政4年 8月24日	37歳	月次御会	内裏	組題100首(1 ~3字題) 紅 葉	あだにをく露しものなとす こくそむる木のはの色や みずらん	為全朝臣〔冷泉 少将〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政4年 8月25日	37歳	当座御会	内裏	組題20首(2 ~4字題) 寄 秋草恋	うらみずやひとのころの秋 かぜにつれなかるゝ野べ のくずはら	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御当座・ 寄秋草恋：とはるやと 人待ふかすたまくらに きけば軒はの秋のこらに (光格合点) うらみず や人のころの秋かぜに つれなかるゝ野べのく ず原(102)
文政4年 9月9日	37歳	重唱御会	内裏	毎秋愛菊	あかてなをまたこのあきも へそへてかはらずみまし まきの花	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	右兵衛督〔藤谷 為脩卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	参議右近衛権中将藤原 実勲
文政4年 9月24日	37歳	月次御会	内裏	鶉、秋霜、思	詠進なし	冷泉前大納言 〔為章卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	参議右近衛権中将藤原 実勲
文政4年 9月28日	37歳	和歌当座御会	仙洞	組題20首(2 字題) 七夕	へだてこし恨もはれて七夕 の遠よの秋のけふやまつ らん	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	冷泉前新大納言 〔為則卿〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政4年 10月24日	37歳	月次御会	内裏	組題100首(3 ~4字題) 花 参老	咲のころこずるまじる花さ らさかりかならぬ色やわ くらん	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲。詠草右上に「後 日詠進。十二月廿六日 御到来」(墨書)と注有 (有栖川宮本)。
文政4年 11月28日	37歳	月次御会	内裏	雪上月、千鳥、 松色久	雪上月：しろ妙にふりつむ 雪のそらはれてひかりをか はずつきのさむけさ、千鳥： かぜあらいそべのまつの ぬにたていでいよちどりのつ まやとふらん。松色久：か けたかくもみの庭に生の ぼるまつのみどりの色はか はらし	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	参議右近衛権中将藤原 実勲。詠草右上に「後 日詠進」(墨書)と注有 (有栖川宮本)。
文政4年 12月24日	37歳	月次御会	内裏	組題100首(3 ~5字題) 名 所言蒲	五月雨のふるのぬまのあ やめ草みどりすしく生しげ りゆく	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御月次・ 名所言蒲：(光格合点) 五月雨のふる野・ぬまの あやめ草みどりすしく 生しげり行。をく露の玉 江の声に生たてまじる あやめのかほるゆふかぜ (127)
文政5年 1月18日	38歳	和歌御会始	仙洞	子日契	きみがためひ手にち世の はるかけてちるねの日の まつこのは	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	参議右近衛権中将藤原 実勲詠
文政5年 1月27日	38歳	御会始	内裏	茶中春	玉だれのこすのどかにての どかにも大つう山のかずむ 霧かぜ	左衛門督	坊城中納言〔俊 明卿〕		国会本内裏	実勲	参議右近衛権中将藤原 実勲
文政5年 後1月24 日	38歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~3字題)	詠進なし	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 後1月26 日	38歳	陽大樹五十 賀	内裏	松延齡	詠進なし	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	冷泉前新大納言 〔為則卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 2月22日	38歳	水無瀬宮御 法楽	内裏	組題20首(3 ~4字題)	詠進なし	為全朝臣〔冷泉 少将〕	権中納言〔庭田 重能卿〕	顕孝(室堂弁)	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 2月22日	38歳	水無瀬宮御 法楽	仙洞	組題20首(3 字題)	詠進なし	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	講師：基茂朝臣〔園頭中符〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 2月25日	38歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(2 ~3字題)	詠進なし	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕	光成朝臣〔廣橋頭弁〕	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 2月25日	38歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(1 字題)	詠進なし	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	講師：雅久朝臣〔飛鳥井少将〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 2月24日	38歳	月次御会	内裏	花浴春月・掃 雁遙、寄連木 恋	花浴春月：いつはあれどひ かりを花のみやことやす みてはふ春のよのつき、 掃雁遙：かへりゆくごり みをくるおもかげもかすめる をちの春のかりがね、寄連 木恋：人しらぬ恋ひぞふか まきはつひにくちやてはな んたの埋木	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	参議右近衛権中将藤原 実勲
文政5年 2月30日	38歳	和歌当座御 会	内裏	組題30首(1 ~3字題) 菊	さき出て雲にほふしらさ きのふせぬ花の秋やかさ ねん	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕	雅久朝臣〔飛鳥井少将〕	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 3月2日	38歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 ~4字題) 秋 月彦光	あきらかに秋は光をますか も万代かけて月やすむらん	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	為全朝臣〔冷泉少将〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 3月11日	38歳	当座御会	内裏	組題20首(3 字題) 重葉露	あさちふに色をつかつく はるすみれの花のあかぬ さ露	冷泉前新大納言 〔為則卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・御当座・重葉 露・(光格合点) あさち ふに色をつかつく咲ま じるすみれの花のあかぬ 朝露、つみのこす野べ のすみれの夕つゆにえ ならぬ色はあすもきてみ ん(53)
文政5年 3月18日	38歳	神影供	内裏	春暉月	詠進なし	雅久朝臣	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	読師：源一位〔庭田重朝卿〕、講 師：雅久朝臣〔飛鳥井少将〕、 亮声：持明院三位〔基延卿〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 3月24日	38歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題) 若 菜	子日せし小まつがはらにも え出るみどりの若な千世も つむべき	為全朝臣〔冷泉 少将〕	権中納言〔庭田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 3月28日	38歳	当座御会	仙洞	組題20首(2 ~4字題) 春 夕	都人春の花野にまどるして 家路わたるゝ暮の空	院御題	左衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	実勲上・御当座・春夕： (光格合点) みやこ人 はるの花野にまどるし てかへる家路をわたる夕 ぐれの空(家路わたる夕 ぐれの空) いるるみ し山の遠なかくれやら ぬ露に匂ふ日影なるらん (107)
文政5年 4月24日	38歳	月次御会	内裏	葵、恋、鶉	葵：はらはじなあさ露なが ら玉すだれかけしあふひの 色ぞすましき、恋：つれなく もいつまでひとりあふはち しらぬさきひを申にかぞへ む、鶉：をのがへん千とせ の末もちぎらさかゆくみ よのと鶉の声	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	権中納言〔庭田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御月次・ 葵：葵がへせぬまつ の尾山のあふひ草をなじ みに生しげるなり、ほ らははな暗つらなる玉 すだれかけし葵の色ぞ すましき、恋：つれなく もいつまでひとりあふ夜 半もしらぬ月日の中にか ぞへん。此まいにあふ もなてこひしなば人に うらみのこをとをしれ、 鶉：をのがへん千の 末もちぎらさかゆく御 代の友づるの声、あそ のふの松にすだちしひ つるは君にならひて千代 やへぬべし(61・62)

文政5年 4月28日	38歳	当座御会	内裏	組題30首(2 字題) 納涼	あつき日もかかげたぶきて なつつきよしくかふよそでの ゆふ風	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	坊城中納言〔俊 明卿〕	講師：光成朝臣〔廣橋頭弁〕	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・御当座・納 涼：(光格合点) 影あ つき日もかかげたぶきて(あ つき日も影かたぶきて) なつごもすずしきあかぬ (すゞしくかふよ) そで の上(夕)風。雲の目 のたへぬあつさもたかの はわするゝかぜの吹も すゞしき(108)
文政5年 5月7日	38歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 字題) 恨恋	身のとがに人やなすべきう きふしのつめれる中の恨な りけり	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	顕孝〔葉室弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	実勲上・御当座・恨恋： (光格合点) 身のとが に人やなすべきうきふし のつめれる中の恨なりけ り。ちぎり口(虫撞)も いつはりなりしことの妻 と思へばふかきうらみま される(128)
文政5年 5月24日	38歳	月次御会	内裏	組題10首(2 字題) 嶺雲	むかひみんしばしはみねに のこる日のげらふ雲のそ むむひとすぢ	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	坊城中納言〔俊 明卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御月次・ 嶺雲：(光格合点) む かひみんしばしはみね に残る日の かけにぞ雲 (かけら雲)のそむむ すぢ。ふりいでん雨をも よほすうき雲のみねに一 むらからたくれ(136)
文政5年 6月24日	38歳	月次御会	内裏	雑麦、夕顔、 緑竹	雑麦：春まきしひとつたね よりさまさまのさかりめかれ ぬ底のなでして、夕顔：山 がつのへだてばかりやまぼ らなるかきねにかける夕が ほの花、緑竹：としごと におひそふ色のふかみどりか はね竹のよかけてみん	為全朝臣〔冷泉 少将〕	冷泉前大納言 〔為則卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中將藤原 実勲	
文政5年 6月25日	38歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(か な題) ふね	をくれしとをがうらうらこ ごいでいなみにつかへるあま のつりぶね	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	基茂朝臣〔園頭中將〕	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 6月25日	38歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(2 字題) 洲鶴	川水のながれにとをき松か げにところをしめてててる	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	坊城中納言〔俊 明卿〕	共福〔清閑寺弁〕	国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 7月24日	38歳	月次御会	内裏	組題100首(1 字題) 鷹	かりわけもつさずたかす へてへふるふとの名ごを ぞおもふ	為全朝臣〔冷泉 少将〕	右兵衛督〔藤谷 為脩卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 8月24日	38歳	月次御会	内裏	嵯峨野中、須 磨浦月、葛城 山雲	嵯峨野中：所がらこころを とめてきつてぬ秋のさかの のよはのむしのね、須磨 浦月：すまのうらやつきみ んためかあまのたくもしほ のけり立ものほろが、葛 城山雲：むかひみるかつら ぎ山のみねたかくかゝれる 雲のはるまぞなき	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中將藤原 実勲	
文政5年 9月9日	38歳	重鵜御会	内裏	菊添佳色	千々の秋みその露に咲に ほふきはさかりの色まさり けり	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	為全朝臣〔冷泉 少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中將藤原 実勲	
文政5年 9月13日	38歳	当座御会	内裏	組題30首(2 字題) 原月	吹かぜに野はらのすゞ露 ちりてやどれるつづきのかけ はとまらす	為全朝臣〔冷泉 少将〕	権中納言〔庭田 重能卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御当座・ 原月：(光格合点) ふく 風に野はらのすゞ露ち りてやどれる月の影はと まらす。末とをく露をわ け行草のはら月はくまな くすむわたる影(118)
文政5年 9月24日	38歳	月次御会	内裏	組題100首(2 字題) 秋夕	心から物おもふあきの夕く れはなみだにそでをしぼり こそすれ	為全朝臣〔冷泉 少将〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 9月24日	38歳	和歌当座御 会	仙洞	組題30首(2 字題) 紅葉	をく霜にそめしこそあすのかけ らつみみいけのさしの木々 のみちらば	為全朝臣〔冷泉 少将〕	右兵衛督〔藤谷 為脩卿〕		国会本仙洞・有栖川宮 本	実勲	実勲上・御当座・紅葉霜： (光格合点) を霜にそ めしこそあすのかけらつ みみいけのさしの木々の みちらば、くれて行あきの 名残と色ふかく朝夕しもの そむむもみちらば(106)
文政5年 10月24日	38歳	月次御会	内裏	松上霜、湖千 鳥、寄舟恋	松上霜：松にふくよはのあ らしのをとりも梢にをける しも雪にしむ、湖千鳥： さまよりつまとふしがのう らつたひなみにうらみてな きあかすらん、寄舟恋：う らなみによるべきだめすた よひてみはうきふねのちな んもうし	冷泉前大納言 〔為則卿〕	右衛門督〔万里 小路建房卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中將藤原 実勲	実勲上・禁中御月次・ 松上霜：松にふくよは のあらしのをとりも梢 にをけるしも雪にしむ にをけるしもぞ身にし む。さわけしな朝夕ふか く霞霜にみどりかはらす たての松かえ、湖千鳥： にほの海ふき落るひらの 山かぜに友まどはして千 鳥鳴り、小夜ちりつ まとふしがのうらつたひ 波にうらみて鳴あかすら ん、寄舟恋：うらみて も身はいつまでかすてを ぶねよるべの浪のたより だになき、潮なみによる べきだめすたよひて身 はうき舟のちなんもうし (56-57)
文政5年 10月27日	38歳	和歌当座御 会	内裏	組題30首(1 千 ~2字題) 千 鳥	あさりすひがたの千どりみ つしほにゆふなみたかくわ れてたらん	左衛門督〔飛鳥 井雅光卿〕	右兵衛督〔藤谷 為脩卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 11月24日	38歳	月次御会	内裏	組題100首(1 ~4字題) 惜 花	又もこん春をおもどとさくら 花ちるをわかれとおしみこ ごすれ	為全朝臣〔冷泉 少将〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政5年 12月24日	38歳	月次御会	内裏	連日雪、年内 驚、巖頭苔	連日雪：ふりいで、はる日 もなほしる雪につもり雪の ふかさぞみる、年内驚： としのうちに春たぬとて 驚のをくれすきなく声やきく らん、巖頭苔：これもまた たねしあればやむす雪の つむいはいほはやくへにけ ん	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕	雅久朝臣〔飛鳥 井少将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中將藤原 実勲	
文政6年 1月18日	39歳	御会始	仙洞	水樹多佳趣	君ぞみん霞むみそのいけけ 水はみぎはのまつのいろに すむらむ	左衛門督	雅久	講師：尾屋大納言、講師：共福、 発声：左衛門督	有栖川宮本	参議右近衛権中將藤原 実勲	
文政6年 2月22日	39歳	水無瀬宮御 法楽	仙洞	組題20首(3 ~4字題) 水 郷月	水無瀬川わすれぬさす みわたる月もむかし秋や とふらん	為全朝臣	俊明	講師：光成朝臣	有栖川宮本	実勲	
文政6年 2月25日	39歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(2 字題) 水鶴	ちぎらね侍人もなきゆふ ぐれにたが門たゝくゝみな なるらん	雅久朝臣	建房	隆光	有栖川宮本	実勲	

文政6年 3月7日	39歳	御会始	内裏	霞浦山	青きぬとやまやまのみな たかくかふるさくみの色の のどけき	雅久朝臣(右少 将)	左衛門督〔雅光 卿〕	読師：花山院大納言〔家厚卿〕、 講師：基茂朝臣〔頭右中将〕、発 声：権中納言〔重能卿〕	国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中将藤原 実勲	
文政6年 3月10日	39歳	当座御会	内裏	組題30首(2 字題) 田里	朝夕にたつるけふりも君が 代はにぎはふ小田のたみの 歌々	冷泉前大納言 (為則卿)	右衛門督〔建房 卿〕	共撰(蔵人権右中弁)	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政6年 3月18日	39歳	神影供	内裏	花色春久	さきよりつるふいろはし らでみるはなにかぞへんは るやうくはる	為全朝臣	雅久	読師：花山院大納言、講師：為 全朝臣、発声：権中納言	有栖川宮本	参議右近衛権中将藤原 実勲詠	実勲上・神影供・花色 春久(光格合点) 咲し よりつるふいろも(は) しらでみるはなにかぞへ ん春は(や)いくはる、 はるい世かけてぞあか ぬ色そへて花はさかり のふりせも哉(78)
文政6年 3月22日	39歳	水無瀬宮御 法案(去月分)	内裏	組題20首(3 ~4字題) 水 郷郭公	ひくふぬのたかせのよどの 河なみになきてすぎ行山ほ といきす	雅久朝臣(右少 将)	権中納言〔重能 卿〕	講師：雅久朝臣(右少将)	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政6年 3月24日	39歳	月次御会	内裏	組題5首(1 ~2字題) 雪	わすれぬみしはる秋の花 紅葉おもかげうづむけさの しら雪	左衛門督〔雅光 卿〕	為全朝臣〔左少 将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政6年 6月16日	39歳	聖廟御法 案(去二月分)	内裏	組題50首(2 ~3字題) 旧 奥鶯	長閑なるみやこいそがでう ぐひすはふるすの山には ねなくらん	為全朝臣〔左少 将〕	雅久朝臣〔右少 将〕	講師：為全朝臣〔左少将〕	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政6年 6月24日	39歳	月次御会	内裏	風前夏草・瀧 辺囀声、名所 眺望	風前夏草：吹かぜにちる 露みえてふかみどりなびく くさの葉やまじげやま、瀧 辺囀声：なつ山のごすゑの 露にやせみの草もおちさ てりくすたきなみ、名所眺 望：へだてつる雲はなば にかかりけりなめあかぬ 山はふじのね	雅久朝臣(右少 将)	為全朝臣〔左少 将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中将藤原 実勲	
文政6年 6月25日	39歳	聖廟御法案	内裏	組題50首(2 ~4字題) 塙 夕顔	心あてにみればすましたそ がれのかきねにさける露の ゆふがは	雅久朝臣(右少 将)	権中納言〔重能 卿〕	講師：基茂朝臣〔頭右中将〕	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中聖廟御法 案・塙夕顔(光格合 点) 心あてにみればす ましたそがれのかきねに 咲る露の夕がは、立より てみる人あらじさかこ ふしづがいきねの夕がほ の花(103)
文政6年 6月25日	39歳	聖廟御法案	仙洞	組題50首(2 字題) 夏花	時のまに川渡たかくなれ 行はけしきす夕立の跡	冷泉前大納言	為脩	講師：基茂朝臣	有栖川宮本	実勲	
文政6年 7月7日	39歳	七夕御会	内裏	七夕天	ほし合のあまつらふく秋 かぜに月のみふねのよるを そとぞよ	冷泉前大納言 (為則卿)	雅久朝臣〔右少 将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中将藤原 実勲	
文政6年 7月24日	39歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題) 松 上座	一葉ふりまつにいく春ちぎり をきて雨にかふるふちなみ の花	為全朝臣〔左少 将〕	坊城中納言〔俊 明卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政6年 8月16日	39歳	和歌当座御 会	内裏	組題6首(4 字題) 月契多 秋	この重のみやこのそらにす む月はちぎるとせの秋もち もらし	左衛門督〔雅光 卿〕	冷泉前大納言 (為則卿)		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政6年 8月23日	39歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 字題) 祝言	波風もしづかなる世のとき にあひてころゆたかに民 やたのしむ	雅久	雅久	講師：為全朝臣	有栖川宮本	実勲	
文政6年 8月24日	39歳	月次御会	内裏	月為終夜友 鶯鳴草花中 稀逢不絶恋	月為終夜友：ねもやらずひ とりおきふてよすがらとよ となむむ月くまなき、鶯 鳴草花中：秋のうにさかり あらずふも草の花にまじり てうづらなくなり、稀逢不 絶恋：あふことのまれなる 中もこのまに未たえせず は何うらむべき	左衛門督〔雅光 卿〕	右兵衛督〔為脩 卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中将藤原 実勲	
文政6年 9月9日	39歳	重陽御会	内裏	九月九日菊	詠進なし	為全朝臣〔左少 将〕	冷泉前大納言 (為則卿)		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政6年 9月24日	39歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題)	詠進なし	雅久朝臣〔右少 将〕	右衛門督〔建房 卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政6年 10月2日	39歳	当座御会	仙洞	組題20首(2 字題)	詠進なし	為全	為則		有栖川宮本		
文政6年 10月24日	39歳	当座御会	内裏	組題20首(3 ~4字題) 雲 間冬月	小夜あらしさそひつさぬ雲 まよひもるかけさむ月ぞこ ほれる	雅久朝臣(右少 将)	雅久朝臣〔左少 将〕		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政6年 10月24日	39歳	月次御会	内裏	待初雪、河千 鳥、旅行曉	待初雪：日かすのみかさね てぞまつ初雪のふるをそ しと何うらむらん、河千鳥： つきさゆる河せの浪のをと ふけてなや千鳥りの音ぞ みにしむ、旅行曉：聞なれ ぬ山ちのあらしをとすぐこ え行たひのあかつきはうし	為全朝臣〔左少 将〕	左衛門督〔雅光 卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛中将藤原 実勲	
文政6年 11月24日	39歳	当座御会	内裏	組題100首 (かな題)	詠進なし	左衛門督〔雅光 卿〕	右兵衛督〔為脩 卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政6年 12月11日	39歳	当座御会	仙洞	組題20首(3 ~4字題) 水 上雪	今朝みれば池水ひろくとち はてしこほりをつむゆきの しら波	冷泉前大納言	為脩		有栖川宮本	実勲	
文政6年 12月24日	39歳	月次御会	内裏	早春薫風、海 辺冬鶯、寄山 契恋	早春薫風：くれてゆくとしの こなたにさき出であかせ にはほ梅のはつ花、海辺 冬鶯：打よするなみはこほ りて難波がたさむきあしべ にたづぞむれぬ、寄山契 恋：ときは山かはらぬ色に 干とせもならびてちぎる言 葉たがふな	雅久朝臣(右少 将)	坊城中納言〔俊 明卿〕		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中将藤原 実勲	
文政7年 1月18日	40歳	御会始	仙洞	松下風声	こゑたかまつふくかぜにき こゆるなみきがちとせのは るもどかに	為全朝臣	雅光	読師：源大納言、講師：基茂朝臣、 発声：綾小路三位	有栖川宮本	参議右近衛権中将藤原 実勲詠	
文政7年 1月24日	40歳	御会始	内裏	予日鶯	けふもひのひのひの松の千 世のはるにまくこまあかぬ 野へのうぐひす	冷泉前大納言	重能	読師：甘露寺前大納言、講師： 光成朝臣、発声：左衛門督	国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛中将藤原 実勲	
文政7年 1月28日	40歳	当座御会	内裏	組題30首(2 ~3字題)	詠進なし	為全朝臣	雅光	講師：顕孝	国会本内裏・有栖川宮 本		
文政7年 2月22日	40歳	水無瀬宮御 法案	内裏	組題20首(2 ~3字題)	詠進なし	為全朝臣	雅光	講師：為知	国会本内裏・有栖川宮 本		
文政7年 2月22日	40歳	水無瀬宮御 法案	仙洞	組題20首(3 ~4字題)	詠進なし	雅久	雅久	講師：為全朝臣	有栖川宮本		
文政7年 2月24日	40歳	月次御会	内裏	組題100首(1 ~4字題) 恋 不逢恋	あはしとはいひはなさを このみにていつまでつら 思ひひるらん	左衛門督	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政7年 2月24日	40歳	当座御会	内裏	組題20首(2 字題) 白露	草のはにあきをばみせてし ら露の先置そめし色のさや けさ	冷泉前大納言	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	

文政7年 2月25日	40歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首 ～4字題)	詠進なし	雅久朝臣	為全	基茂朝臣	国会本内裏・有栖川宮 本		
文政7年 2月26日	40歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 字題) 曙雲	影のこる月もかすみ山端 によぐもしらむ春のあけぼ の	左衛門督	為全	講師：為知	有栖川宮本	実勲	
文政7年 3月18日	40歳	神影供	内裏	社頭鶯	さきにほふこのかみかきの はなのえに木つたひきあろ うびすのこえ	冷泉前大納言	為脩	読師：冷泉前大納言、講師：雅 久朝臣、発声：左衛門督	有栖川宮本	参議右近衛中将藤原 実勲	
文政7年 3月24日	40歳	月次御会	内裏	糸桜、燕、恋 風	糸桜：未ながくきみこそほ みあいとざくらふりせぬは なのほろい千世 燕：ひ るあてのふるすやありとつば くらめ軒ばまぢか(わすれず もとふ、恋風：かならずと たのみをく夜のたまくらにき く音ふくるまつ風はうし	為全	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛中将藤原 実勲	
文政7年 4月24日	40歳	月次御会	内裏	組題20首(1 ～3字題) 熊 射	秋よりもなをたちならし茂り あふ嵐山の鹿のともしにや よる	冷泉前大納言	重能		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政7年 5月10日	40歳	聖廟御法 楽(去二月 廿五日御延 引)	仙洞	組題50首(1 ～2字題)	詠進なし	左衛門督	為脩	為知	有栖川宮本		
文政7年 5月14日	40歳	当座御会	仙洞	組題20首(3 字題) 夏逢恋	うらなくも逢うれし夏衣 とへに契る中の行末	為全朝臣	重能		有栖川宮本	実勲	
文政7年 5月24日	40歳	月次御会	内裏	五月郭公、池 朝菖蒲、山家 送年	五月郭公：五月きぬさを もはかずはとぎす声をおし まで鳴わたらし、池朝菖 蒲：あさ戸でにみればす しくあやめくさいけの渚に 風かほるなり、山家送年： 松にふくあらしもなれてい くとしのはあきをく山かげ のいは	雅久朝臣	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛中将藤原 実勲	
文政7年 5月30日	40歳	当座御会	内裏	組題30首(1 ～3字題) 葵	玉とみし露はこぼれてあさ 嵐になびくあふひの色ぞ すしき	左衛門督	建房		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御座・葵： (光格合点) 玉とみし 露はこぼれてあさかせに なびくあふひの色ぞすし き、松ならぬおなじ二 葉にあふひ草いく世つき せずおふる神山(142)
文政7年 6月24日	40歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ～3字題) 夏 栲	そこきよすめるもすまし みかは水君がちとせのかけ をうつして	左衛門督	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政7年 6月25日	40歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(2 字題) 寒草	くちはてず霜にいつまでか れてたつ色も寒けし庭の秋 は	為全朝臣	重能	講師：雅久朝臣	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政7年 6月25日	40歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(3 ～4字題) 待 空恋	たのめしにかはるつらさのこ との葉をさでてこよも待あ かすらん	為則	為則	正房	有栖川宮本	実勲	
文政7年 7月7日	40歳	七夕御会	内裏	七夕言志	すしくもはつあきかぜのふ きよすほしのあふ瀬のあ まのかはなみ	雅久朝臣	建房		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政7年 7月24日	40歳	月次御会	内裏	萩花、女郎花、 尾花	萩花：さきよりした行水 はあきはきはのかけみ るかきみならし、女郎花： むすあはの色をならびてあ きのいに匂ふさかりはを みなへしかも、尾花：未とを くたつら波のいろみせて おはなをわたるまの、浦か ぜ	民部卿	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	実勲上・禁中御月次・ 萩花：はぎの戸のいく くふる萩の花さかり心を とめて色はみてまし、(光 格合点) 咲しよりした行 水はあき萩のはなのかけ みるかきみならし、 女郎花：(光格合点) むすあはの色をならびて 萩野に匂ふさかりはを みなへしかも、折とらば 我名やたいんをみなへし おほかる野べをみては 過うき、尾花：(光格合 点) 未とをくたつら波 のいろみせておはなを わたるまの浦かぜ、萩 風のふきならしそなび きあふ野べの尾花の袖 のしら露(123・124)
文政7年 8月24日	40歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ～5字題)	詠進なし	為全朝臣	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政7年 8月30日	40歳	当座御会	仙洞	組題20首(3 字題)	詠進なし	飛鳥井三位	建房		有栖川宮本		
文政7年 後8月24 日	40歳	月次御会	内裏	雁、碓、契	雁：こし路よりいくへの山 のみねこえてみやこの空に 雁のきつらむ、碓：浦かぜ のよむをすまのあま人も ふせぐためとやきぬたつづ らん、契：かならずとぎりお くよのふるまでとひくる人 を待ぞおびぬる	左衛門督	建房		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政7年 9月9日	40歳	重懸御会	内裏	菊花宴久	ながつきやきくのさかづき 千世までもかはらぬはなの いろつかへて	民部卿	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政7年 9月13日	40歳	当座御会	内裏	組題20首(2 ～4字題)	詠進なし	左衛門督	重能		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政7年 9月21日	40歳	修学院御幸 御会	修学院	紅葉色深	詠進なし	為則	為則		有栖川宮本		
文政7年 9月21日	40歳	於修学院御 座	修学院	水樹多佳趣	詠進なし	院御題	為則		有栖川宮本		
文政7年 9月24日	40歳	月次御会	内裏	組題100首(3 ～4字題) 折 紅葉、紅葉下 菊	折紅葉：よそに見て降るは おと家づとに手折行ての みちの紅葉、紅葉下菊： いく千しほそめし紅葉の木 のもとにおなじ秋とやゆふ しら菊	飛鳥井三位	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲「後 日詠進」と墨書(注有 有栖川宮本)	
文政7年 10月10日	40歳	当座御会	内裏	組題30首(2 ～3字題)	詠進なし	冷泉新三位	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政7年 10月21日	40歳	当座御会	仙洞	組題20首(和 歌の句) 木 のしたつゆは	みやぎ野の木の下つゆは 秋はきの花のにしきの色や そらん	民部卿	為脩		有栖川宮本	実勲	
文政7年 10月24日	40歳	月次御会	内裏	落葉交雨、残 菊猶匂、海路 浪速	落葉交雨：こすゑにはいろ ものこさずふきまぜてくれ をそむる風の紅葉ば、残菊 猶匂：千世ふべくあきよ りのちもそのふに猶にほひ ぬる露のしら菊、海路浪速： けふいく日おなじふなちの わたのはら行まもなみのほ るかならん	民部卿	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	

文政7年 11月24日	40歳	月次御会	内裏	組題20首(2月 前雪、河上雪 ～4字題)	月前雪：はれやらでふるか とみれば月ゆきのひかりを かほす冬のよの庭、河上 雪：冬川のましのくれ竹お れふしてこほらぬ水につもる しら雪	為全	為則		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御月次・ 月前雪：(光格合点) はれやらでふるかとみれば 月ゆきのひかりをかほす 冬のよの庭、さえわたる 月のかつらの小夜風にち りくる雪ははなの面かげ 河上雪：(光格合点) 冬川 のましのくれ竹を(お)れ ふして水らぬ水につもる しらゆき、飛鳥川ふち瀬 もわかず水あしなみには ゆきのふりつもりけり (163・164)
文政7年 12月10日	40歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 字題) 筒篠	冬がれもしらぬをかべの さゝのはに露結ぶ霜の色は さむけし	左衛門督	雅久		有栖川宮本	実勲	
文政7年 12月15日	40歳	当座御会	内裏	組題30首(4 字題) 水鳥願 舟	朝夕になをなれなれてふな 人のさすさほちかくうかぶ 水鳥	民部卿	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政7年 12月24日	40歳	月次御会	内裏	梅告春近、名 所炭電、実行 未恋	梅告春近：年さむ雪つ む枝に咲出で春やあかしと 匂ふ梅が、名所炭電：さ むさをもいとほ小野、山 人は煙たてそふみねの民が ま、実行未恋：諸ともに思 ひかはしてひとすぢに行未 恋中の言の葉	左衛門督	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政8年 1月18日	41歳	和歌御会始	仙洞	鶯声和琴	つまごとはるのしらべの まをへて千世もあかずやう ぐひすのなく	飛鳥井三位	為脩	読師：皇太后宮権大夫、講師： 顕孝朝臣、発声：冷泉新三位	有栖川宮本	権中納言藤原実勲。 〔(光格合点) つまご との春のしらべの声をへて 千代もあかずやうのなく、 くりかへし調ぶること にあかぬねもいく春そ ふるわかの際、鶯もかき なすことに千々の春ひか れてきなく言をふらん 実勲〕(東山御文庫「一 条忠良等御会始詠草何 御留(文政8年)」)(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	
文政8年 1月21日	41歳	鴨社御法案		早苗	(光格合点) 五月雨のはる を待てしつやとる小田のさ なへのふしたぬまに(と)			東山御文庫「三条西実 勲等鴨社御法案詠草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。		実勲	実勲上・鴨社御法案・ 早苗：(光格合点) 五 月雨のはるをまて (たで)しつやとる小 田のさなへのふしたぬ まに(と)、行末のあ きまつ民のうへわらず 田面すしき露の若なへ (122)
文政8年 1月28日	41歳	和歌御会始	内裏	春竹添色	このへに千世へんたけの ふかみどりいろそふはるの かぎりしられし	為全	為則	読師：新源大納言、講師：共福 朝臣、発声：持明院三位	国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲。 〔(光格合点) 九重に 千世へん竹の深みどり 色そふ春の限りしられ じ、九重やみどりち よの春みえてみかきの 竹の色もそふらし 実 勲〕(東山御文庫「一 条忠良等御会始詠草何 御留(文政8年)」)(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	
文政8年 2月4日	41歳	当座御会	内裏	組題30首(3 ～4字題) 春 水郷	波の音も春はどかにへた つらん霞むみなせの山もと の里	左兵衛督	為則	講師：顕孝朝臣	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政8年 2月16日	41歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 ～3字題) 橘 薫枕	ねやの戸のすきまの風のさ そひきて枕ふかく匂ふ立 花	左衛門督	俊明	隆光	有栖川宮本	実勲。「橘薫枕：(光格 合点) 風の戸のすきま の風のさそひきてまら 夜ふかく匂ふ立花 実 勲」(東山御文庫「冷 泉為則等仙洞御当座詠 草何御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、110-6- 11、P7431)。	
文政8年 2月22日	41歳	水無瀬宮御 法案	内裏	組題20首(3 ～4字題)	詠進なし	左兵衛督	建房	正房	国会本内裏・有栖川宮 本		
文政8年 2月22日	41歳	水無瀬宮御 法案	仙洞	組題20首(3 字題)	詠進なし	民部卿	為全	共福朝臣	有栖川宮本		
文政8年 2月24日	41歳	月次御会	内裏	組題100首(3 ～4字題) 初 秋薄、落葉深	初秋薄：夏すぎてけさより 秋の初おぼなそでふくかぜ やおどろかすらむ、落葉深： ちりそてつもる落葉のい ろいろは秋のかたみとはら はでぞみる	民部卿	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲。「初 秋薄：(光格合点) 夏 過ぎてけさより秋の初 おぼなそでふくかぜ やおどろかすらむ(皆) おなじ心に祈る神がき 実勲」(東山御文庫「冷 泉為則等聖廟御法案詠 草何御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、110-6- 11、P7431)。	
文政8年 2月25日	41歳	聖廟御法案	内裏	組題50首(1 ～2字題) 紅 葉	みらに鑑あかぬ千しほの秋 深くそめしみぎりの木々の紅 葉	左兵衛督	為脩	講師：為知	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「禁中・紅葉：(光 格合点) みらに鑑あか ぬ千入に(の)秋ふか く染しみぎりの木々の紅 葉」(東山御文庫「冷 泉為則等聖廟御法案詠 草何御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、110-6- 11、P7431)。	
文政8年 2月25日	41歳	聖廟御法案	仙洞	組題25首(3 ～4字題) 社 頭祈	おさまれる世はながれと誰 もみなおなじ心にいる神 垣	左衛門督	俊明	講師：顕孝朝臣	有栖川宮本	実勲。「社頭祈：(光格 合点) おさまれる世はな がれとたれも今(皆) おなじ心に祈る神がき 実勲」(東山御文庫「冷 泉為則等聖廟御法案詠 草何御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、110-6- 11、P7431)。	実勲上・聖廟御法案・ 社頭祈：(光格合点) おさまれる世はながれ とたれも今(みな)お なじ心にいるの神が ま、しき嶺のみちのさか 野の神のみやしる(111)

文政8年 2月27日	41歳	賀茂社御法 楽		恋煙	恋雲(煙)：(光格合点) 終にわがき名をよそに立 そめし恋のけぶりの(ぞ) けつつかたぞ(の)なき			東山御文庫「冷泉為則 等賀茂社御法楽詠草 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実勲	実勲上・賀茂社御法 楽・恋煙：かぞども人 はしらじなあさからで がすおもひのたへぬけ ぶりに、(光格合点)つ い(る)にわがき名を よそにたてそめし恋の けぶりの(ぞ)けつつか たぞ(の)なき(75)	
文政8年 3月8日	41歳	当座御会	内裏	組題20首(1 ~2字題)燕	こそこの春すだつふるすをわ すれずも燕は同じ軒端とふ 声	飛鳥井中納言	建房	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御当座・ 燕：(光格合点)こそ の春すだつふるすをわ すれずもつばめおなじ 軒端とふ声、こそこの 外になれにこそつばめ また此春もわすれずや とふ(109)	
文政8年 3月18日	41歳	神影供	内裏	風静花芳	さきまさるこそよのどにか ぜみえてはほふ香あかぬ はなはいく千世	左兵衛督	俊明	読誦：按察大納言、講師：光輝、 発声：左兵衛督	有栖川宮本	権中納言藤原実勲。「咲 まさる梢のどかに風み えて匂ふ香あかぬ花は いく千世、吹わたる風 の心も長閑にて幾春 花のかに匂ひける 実勲」(東山御文庫「祐 真等柿本神影供詠草 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実勲上・神影供・風静 花芳：(光格合点)咲 まさるこそよのどにか ぜみえて匂ふ香あかぬ 花はいく千世、ふさ わたる風の心も長閑 にていくは花のかに匂 ひける(114)
文政8年 3月22日	41歳	賀茂社御法 楽		紫藤懸松	(光格合点)紫のえならぬ 色と松が杖のごすゑにか けて匂ふ藤波			東山御文庫「冷泉為則 等賀茂社御法楽詠草 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。			
文政8年 3月24日	41歳	月次御会	内裏	御躰江、歌冬 盛、寄藤恋	御躰江：妻木にはかりも らされて山陰にさけるつじ のあかぬ紅、歌冬盛：置と めし露に盛の色そへて匂 まがきの山吹のはな、寄藤 恋：藤がづらほそきなり かりかへし松にかけてはた のむ行末	左兵衛督	重能	国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲。 〔(光格合点)つま木に はかりもらされて山陰 に咲るつじのあかぬ紅、 向のつに春はつじの咲 いでて花に紅葉の色や みすらん。(光格合点) 置とめし露にさかりの 色そへてはほふまが きの山吹の花、八重一 重咲かざりて山吹の 匂ふさかりの色そえ ならぬ。(光格合点)藤 がづらながき契りを かりかへし松にか けてぞたのみ行末、 咲藤の色なつかしみ 年月を心のつみか けておれず 実勲〕 (東山御文庫「祐真等 内裏月次詠草御留 (文政8年)」(1冊、 仮綴、110-6-11、 P7431)。		
文政8年 3月	41歳	内院 聖廟 御法楽詠草 三 何之留 月		暮春花	(光格合点)とどまりて おしむかひなり行春を 散てぞ(も)をくれ花の夕風			東山御文庫「冷泉為則 等聖廟御法楽詠草 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。			
文政8年 4月24日	41歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~5字題)餘 花何在、夏湊	餘花何在：さきのこ る花はいづこのこ かげそと青葉の やまを猫たづね みん、夏湊：舟と むる湊の波にを ちかへり山子 現かきねとぶ声	左兵衛督	俊明	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「余花何在：(光 格合点)咲藤の花はい づこのこかげそと青 葉の山を猫尋ねむ 実 勲」(東山御文庫「祐 真等内裏月次詠草 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。		
文政8年 5月24日	41歳	月次御会	内裏	郭公、櫻花、 眺望	郭公：声絶ず鳴や五月 の子規いたりたぬ里も あらしな、櫻花：青 葉のみしけるはやし に咲まじる櫻の花 の色そへあへる、 眺望：浦をくみ るめにはなる山も なし雲につく沖つ 白浪	飛鳥井中納言	俊明	国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲。 〔(光格合点)声絶ず なや五月の郭公いた りたぬ里もあらしな、 まどるふは聞らさ じな郭公、夜ふく き月を鳴てつらば、 青葉のみ茂る林に 咲まじるあふちの 花の盛りをぞみる、 庭の面は春より後 も紫の色にあふち の花咲るかば、浦 通くみるめにさ はる山もなし雲に つく沖つ白浪、雲 晴てこえはるば ると出子の浦の波 にうかべる雪のふ じのね〕(東山御文 庫「祐真等内裏 月次詠草御留(文 政8年)」(1冊、 仮綴、110-6-11、 P7431)。		
文政8年 6月10日	41歳	当座御会	内裏	組題20首(2 字題)夏垣	花をまつ秋ちか ければしげるとも垣 根の草ははらは でやみん	左衛門督	雅光	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「夏垣：(光 格合点)花をまつ秋 ちかければしげると もはらはで(かきね の)草ははらはでや みん 実勲」(東山御 文庫「日野資矩等 内裏御法楽詠草御 留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。		
文政8年 6月14日	41歳	内院 水無 瀬宮法楽詠草 何之留(去四月 分)		忍通恋	(光格合点)しられじな つむ心のかよひ路は 忍ぶばかりの思ひ 成けり			東山御文庫「冷泉為則 等水無瀬宮御法楽 詠草御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、10-6-11、 P7431)。	実勲		
文政8年 6月17日	41歳	鶴社御法楽		落葉深	(光格合点)ちるま いにつもりかさ ねて雪ならぬ庭 のこのはも山と こそみれ			東山御文庫「三条西 実勲等鶴社御法 楽詠草御留(文政 8年)」(1冊、 仮綴、110-6-11、 P7431)。	実勲		
文政8年 6月18日 〔四月分〕	41歳	鶴社御法楽		夏野月	(光格合点)月やど る夏野、草の露 分て行怪すし影 もまたる			東山御文庫「三条西 実勲等鶴社御法 楽詠草御留(文政 8年)」(1冊、 仮綴、110-6-11、 P7431)。	実勲		

文政8年 6月20日 (五分)	41歳	賀茂社御法 楽		虫声幽	(光格合点) 露しの夜寒 をわけて鳴よははむしのこ まごも幽かにぞきく				東山御文庫「冷泉為則 等賀茂社御法楽歌草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実熟	
文政8年 6月21日	41歳	内院 聖廟 御法楽歌草 何之留 四 月か		被忘恋	(光格合点) いつよりか人 の心につれなくもこひ忘草 しげりてぞ行(生ほじめゆ ん)				東山御文庫「冷泉為則 等聖廟御法楽歌草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実熟	
文政8年 6月24日	41歳	月次御会	内裏	組題10首(1 ~2字題) 居 所、虫	居所:身をやすくよのこと わざをよそにすむ深山の飛 の庵やしげき、虫:軒端 よりまがきの草の末葉にぞ かけてすづくさかのにいと	飛鳥井中納言	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実熟。「居所:(光格合 点)身をやすくよ世を よそにかれすむ(世の ことわざをよそにすむ) み山のおくの庵ぞ(や) しげき、虫:(光格合 点)軒ばより藤の草の 末葉にぞかけて集つくる さ、がにのいと」(東山 御文庫「祐真等内裏御 月次歌草何御留(文政 8年)」(1冊、仮綴、 110-6-11、P7431)。	実熟上・茶中御月次・ 居所:君ぞみんいく世 もきよきみは水すめる ながれのみぎりならまし、 (光格合点)身をやす くうきをよそにかれ すむ(よのこもわざをよ そにすむ) 深山のおく のいほぞ(や)しげき、 虫:朝ゆふのつゆ にぬれしとみのむしのず がる木の葉をかづればに して、(光格合点)軒端 よりまがきの草の末葉に ぞかけてすづくさか のにいと(116-117)
文政8年 6月25日	41歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(1 字題) 昔	かげたかき岩ほにいく世生 のほまこけのみどりもときは 成らむ	勅題(仁孝天皇)	建房	講師:正房	国会本内裏・有栖川宮 本	実熟。「昔:(光格合 点)かき岩ほにいく世生 のほまこけのみどりも ときは成らむ」(東山御 文庫「冷泉為則等聖廟 御法楽歌草何御留(文 政8年)」(1冊、仮綴、 110-6-11、P7431)。	
文政8年 6月25日	41歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(1 ~2字題) 映	をこたらずつかふる道をい そげとや映つくる鳥の声や	勅題(光格上 皇)	重能	講師:光輝	有栖川宮本	実熟。「映:(光格合 点)をこたらずつかふる 道をいそげとや映つ くる鳥の声や」(東山御 文庫「冷泉為則等聖廟 御法楽歌草何御留(文 政8年)」(1冊、仮綴、 110-6-11、P7431)。	
文政8年 6月	41歳	内院 水無 瀬宮法楽歌 草何之留		冬祝	(光格合点) いくへにかふ りつむ雪は君が代の豊年 つきぬぬとぞみる				実熟。東山御文庫「冷 泉為則等水無瀬宮御法 楽歌草何御留(文政8 年)」(1冊、仮綴、10- 6-11、P7431)。	実熟上・水無瀬宮御法 楽・冬祝:松かげのい く世の雪をのうへに しらすかきぬるつるの毛 衣、(光格合点)いくへ にかふりつむ雪は君が 代のとよとしつきぬひかり とぞみる(150)	
文政8年 7月7日	41歳	七夕御会	内裏	七夕鳥	たなばたのまれのあふよの ほどもなくあけぬとつくと りやうららみ	飛鳥井中納言	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	權中納言藤原実熟。「小 夜更て聞をとたくみる よりもそよぞさびし風の 疾はら、(光格合点)橋 しより明を毎に秋かへ てまがきにかる朝がほ の花、山鳥の尾上へだ て、さをしかのくる夜ご とにつまこぶるこま、 (光格合点)ふか草や青て 野となる夕暮はわがす む里と籠鳴こる、(光格 合点)打とけてあふよの 後は移りがの残るまくら のひとりねぞうき、かな らずと待たぐれはよそに 又なかなかきかぬ入相 のかね 実熟」(東山御 文庫「祐真等内裏御 月次歌草何御留(文政 8年)」(1冊、仮綴、 110-6-11、P7431)。	実熟上・茶中七夕御 会・七夕鳥:(光格合 点)たなばたのまれの あふよのほどもなくあ けぬとつくる鳥やうら らみ、あまの河ほしのあ ふ瀬も千世の秋かけてた えせぬかき、きのほし (いく秋と祝入候)(34)
文政8年 7月24日	41歳	月次御会	内裏	秋植物、秋動 物、恋雑物	秋植物:うへしよりあくる日 毎に咲かへてまがきにか る朝がほの花、秋動物: 涼草やあれて野となる夕暮 はわがすむさとうづら鳴 声、恋雑物:打とけて遠 夜の後はうつり香の残る枕 のひとりねぞうき	雅久	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	權中納言藤原実熟。「小 夜更て聞をとたくみる よりもそよぞさびし風の 疾はら、(光格合点)橋 しより明を毎に秋かへ てまがきにかる朝がほ の花、山鳥の尾上へだ て、さをしかのくる夜ご とにつまこぶるこま、 (光格合点)ふか草や青て 野となる夕暮はわがす む里と籠鳴こる、(光格 合点)打とけてあふよの 後は移りがの残るまくら のひとりねぞうき、かな らずと待たぐれはよそに 又なかなかきかぬ入相 のかね 実熟」(東山御 文庫「祐真等内裏御 月次歌草何御留(文政 8年)」(1冊、仮綴、 110-6-11、P7431)。	
文政8年 7月	41歳	石清水社法 楽歌草何之 留 七月		寄常恋	(光格合点) 忘るなよぎり 絶すば別れてもめぐりあふ べき□の下帯				東山御文庫「三条西 実熟等石清水社御法楽歌 草何御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、10-6- 11、P7431)。	実熟	
文政8年 7月	41歳	内院 聖廟 御法楽歌草 何之留		秋夕雲	(光格合点) 何となくたよ ふ雲のいろまでも身にむし 秋の夕べさびしき				東山御文庫「冷泉為則 等聖廟御法楽歌草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実熟	実熟上・聖廟御法楽・ 秋夕雲:立いであき は月まつゆふぐれの山 の端つらくかるしら雲、 (光格合点)なにとなく たよふ雲のいろまでも 身にむし秋の夕べさびし き(183)
文政8年 8月16日	41歳	当座御会	内裏	組題30首(3 ~4字題) 月 前露	くれ竹の葉わけの風のちら すなよ露にふかかくやどる月 影	民部卿	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実熟。「(光格合点)呉 竹の葉わけの風のちら すなよ露にいく秋(よ かく)やどる月影 実熟」 (東山御文庫「百野賀 祐等内裏御当座御法 楽歌草何御留(文政8 年)」(1冊、仮綴、 110-6-11、P7431)。	
文政8年 8月18日	41歳	賀茂社御法 楽		草露映月	(光格合点) 草のはの露の 光をそへむとや(て猶)て らす花野・月ぞくまなき				東山御文庫「冷泉為則 等賀茂社御法楽歌草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実熟	

文政8年 8月24日	41歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題)秋 田露、秋旅情	秋田露：ながめやる田面を ひろみ吹風になびく稲ばの 露ぞみだる、秋旅情：友 もなくこえ行山の夕暮はさ びしかるべき秋のたび人	左衛門督	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「秋田露：(光格 合点)ながめやる田面 をひろみ吹風になびく 稲ばの露ぞみだる、秋 旅情：(光格合点)友 もなくこえ行山のゆふぐ れはさびしかるべき秋の たび人 実勲」(東山御 文庫「祐真等内裏御月 次詠草何御留(文政 8年)」(1冊、仮綴、 110-6-11、P7431)。	
文政8年 8月	41歳	石清水社 法楽詠草何 之留 八月		生田杜月	(光格合点)紅葉するいく 田の杜の秋の色に毎夜毎 夜月の影ぞ照はゆ				東山御文庫「三条西実 勲等石清水社御法楽詠 草何御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、10-6- 11、P7431)	実勲	
文政8年 9月9日	41歳	重陽御会	内裏	菊有長生種	きみが代をあいきくかへり こいへのに咲にほふさく の種は尽せじ	左兵衛督	重能		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲。「た ねしあれば秋久かたの 雲の上にはけさく菊のは なはいく千世、咲にはふ さくのはつきせじ(マ) 、(光格合点)きみが へむ千世もみかきにさ く菊のさかふる花のたね はつきせじ 実勲」(東 山御文庫「飛鳥井雅 光等重陽御会詠草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	
文政8年 9月13日	41歳	鴨社御法 楽		瓶庭菊	(光格合点)種そへん庭を 山路と咲きに円居してみる 花はあかじな				東山御文庫「三条西実 勲等鴨社御法楽詠草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実勲	実勲上・鴨社御法楽・ 瓶庭菊：(光格合点) 種そへん庭をやま路と 咲くにまどみしてみるは なはあかじな、いく秋を 花にかそへてみるに種 あかぬ色香の庭のむら菊 (38)
文政8年 9月24日	41歳	月次御会	内裏	月契多秋、紅 葉下菊、名所 浦駒	詠進なし	飛鳥井中納言	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	参議右近衛権中將藤原 実勲	
文政8年 10月18日	41歳	和歌当座 御会	仙洞	松霜、浦浪	松霜：いくたび霜はをけ どもふかみどりさかふる松 の万代のかけ、浦浪：つき せじなはまのまさごにうら よせて光くもらぬわか の浦波	民部卿	為全	読師：権中納言、講師：隆光	有栖川宮本	実勲	
文政8年 10月18日	41歳	九月忠良公 へ潘頂後之 也	仙洞	2首通題	朝な朝な松の葉しろくを 霜にいろもかはらずい 世ふるかげ、(光格合点)い く度か霜のをけどもふか みどりさかふるまつの万 代のかけ、未とをくそら のみるめのやたてなく ゆたかによするおきの しら波、(光格合点)つき せじなはるもまだ □に打よせてひかりく もらぬわか の浦波 実勲				東山御文庫「冷泉為則 等仙洞御当座詠草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実勲	
文政8年 10月20日	41歳	鴨社御法 楽		時雨雲	(光格合点)此里に時雨し 雲の晴ていまふ外山の 峰にかれる				東山御文庫「三条西実 勲等鴨社御法楽詠草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実勲	実勲上・鴨社御法楽・ 時雨雲：(光格合点) 此さとにしがれし雲のは れて今もかふ外山のみ なにかれる、さだめな くあらしに雲はさそは れいく度おなじ雲にし く(3)
文政8年 10月23日	41歳	於修学院 御当座 後座	修学院	組題6首(2 字題)	詠進なし	為則	為則		有栖川宮本		
文政8年 10月23日	41歳	於修学院 御当座 後座	修学院	十月見紅 葉(各冒頭に 「かみなづき のちのみかや まにのこすや みぢをもてあ そぶ」の一 字づつを 置く)	詠進なし	為則	為則		有栖川宮本		
文政8年 10月24日	41歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題)雨 中落葉、雪未 深	雨中落葉：小夜風にちり みだれつる紅葉ばに窓 うつ雨も音をそへけり、 雪未深：今朝はまだ跡 をつけじとみる雪も程 なく幾重降つものらん	為全	為則		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「雨中落葉：(光 格合点)小夜風に取 みだれつる紅葉ばに窓 うつ雨も音をそへけり、 雪未深：(光格合点)今 朝はまだ跡をつけじと みる雪もほどなくへ降 つものらん 実勲」(東 山御文庫「祐真等内裏 御月次詠草何御留(文 政8年)」(1冊、仮綴、 110-6-11、P7431)。	
文政8年 10月	41歳	石清水社 法楽詠草何 之留 十月		時雨告冬	(光格合点)今朝は、や日 影も寒き浮雲のしぐれて 冬をさそひさけり				東山御文庫「三条西実 勲等石清水社御法楽詠 草何御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、10-6- 11、P7431)	実勲	
文政8年 10月	41歳	内院 水無 瀬宮法楽詠 草何之留		初冬霜	(光格合点)三十の葉の露 といっしかをきかはる霜 よみえて冬やきぬらん				東山御文庫「冷泉為則 等水無瀬宮御法楽詠 草何御留(文政8年)」 (1冊、仮綴、10-6-11、 P7431)。	実勲	
文政8年 11月14日	41歳	鴨社御法 楽		野辺雪	(光格合点)打出てむか ふもあかし降つもの都 の野への今朝のしら雪 実勲				東山御文庫「三条西実 勲等鴨社御法楽詠草何 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431)。	実勲	実勲上・鴨社御法楽・ 野辺雪：(光格合点)う ちいでいむかふもあか し降りつもの都の野への 今朝のしら雪、ふみわけ しゆきに跡あるひとす ぢの道の行手の野への 寒けき(76)

文政8年 11月24日	41歳	月次御会	内裏	朝雪、水鳥、 祝言	朝雪：大ひえの高ねばかり にみし雪もみやこに今朝は 降つもららし、水鳥：むれ きてや御池をひろみ所えて たちもさはがずうかぶをし 鴨、祝言：おさまれる八し ほの波の外までもおなじ心 に君あふぐらし	勅題（仁孝天 皇）	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲、松 に吹風はゆきき今朝絶 ていと静けき小田のけの いは、大ひえの高ねば かりにみし雪もみやこに けさは降つもららし、冬 の夜はさきや寒き水鳥の こほりのとこにねぶる をし鴨、むれきてや御 池をひろみ所えてたち もさはがずうかぶをしが も、おさまれる八橋の波 の外までも同じ心に君御 ぐらし、そのがふきき年 のよはひ御園生の□は ちぎりて遊ぶ友つる 実 勲（東山御文庫「祐 真等内裏御月次詠草何 御留（文政8年）」（1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431）。	
文政8年 12月17日	41歳	和歌当座御 会	内裏	組題20首（3 ～4字題）田 家雪	此ふゆべ外山をかけて降つ もる雪にみわたす小田の かり庵	左兵衛督	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「田家雪」（光格 合点）此夕外山をかけて 降つもる雪にみわたす 小田のかりいは 実勲 （東山御文庫「日野資 矩等内裏御当座詠草何 御留（文政8年）」（1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431）。	
文政8年 12月24日	41歳	月次御会	内裏	組題100首（2 ～5字題）河 上水鳥、遺水	河上水鳥：友あまたおなじ 河べにしたひきてたちもさ はがずあそぶをしがも、遺 水：をとさへも今朝は水の しがらみにさかれてよどむ 庭のやり水	左兵衛督	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「河上水鳥」（光 格合点）友千鳥同じ 河べにしたひきて立ちも さはがず遊ぶをし鳥（が も）、遺水：をとさへも 今朝は水のしがらみにさ かれてよどむ庭のやり水 実勲（東山御文庫「祐 真等内裏御月次詠草何 御留（文政8年）」（1 冊、仮綴、110-6-11、 P7431）。	
文政9年 1月18日	42歳	和歌御会始	仙洞	雪中春風	いかりかすみへたていふ きまさるをともゆたけさほ るかぜのそら	飛鳥井中納言	俊明	読師：新源大納言、講師：為和、 発声：持明院二位	有栖川宮本	権中納言藤原実勲詠。 〔光格合点〕照す日 にか曇へたて吹わたす をともゆたけき春の朝 風（風の空）、日にそび てと長閑なる今朝風に たてる霞のなびくにぞし る 実勲（東山御文庫 「一条忠良等御会始詠 草何御留（文政9年）」 （1冊、仮綴、10-6- 12、P7431）。	
文政9年 1月24日	41歳	御会始	内裏	春天象	てらす日のひかりに千世の 春の色もみえてかすめるそ らののどけさ	飛鳥井中納言	雅久	読師：皇太后宮大夫、講師：顕 孝朝臣、発声：飛鳥井中納言	国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲。 〔光格合点〕照す日 の光に千世の春の色も みえてかすめる空のど けさ、天つ空みちもか はらすめぐる日の影長閑 なる春やますらん 実 勲（東山御文庫「一 条忠良等御会始詠草何 御留（文政9年）」（1 冊、仮綴、10-6-12、 P7431）。	
文政9年 1月27日	42歳	当座御会	内裏	組題30首（1 ～2字題）忍 恋	未つるにあらはれやせん なりとも世にしられじと忍 ぶるししさ	飛鳥井中納言	為脩	読師：隆光	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「忍恋」（光格 合点）未つるに隠れやせ ん名なりとも世にしられ じと忍ぶるししさ 実勲 （東山御文庫「日野資 矩等内裏御当座詠草何 御留（文政9年）」（1 冊、仮綴、10-6-12、 P7431）。	
文政9年 1月27日	42歳	鴨社御法案 正月		落葉埋菊	（光格合点） 咲のこる花 をみせじと（もむら） 散埋む木葉の下に匂ふしら まぐ				東山御文庫「祐真等 鴨社御法案詠草何御留 （文政9年）」（1冊、仮 綴、10-6-12、P7431）。	実勲	
文政9年 1月	42歳	石清水社法 案 正月		初春鶯	（光格合点） 新玉の年のは つねをのどかにもつづてや きなく春の鶯				東山御文庫「久世通理 等石清水社御法案詠草 何御留（文政9年）」（1 冊、仮綴、10-6-11、 P7431）。	実勲	
文政9年 2月21日	42歳	鴨社御法案		苗代水	（光格合点） いくすちに水 せき分てますらおが□ま きおろす小田の苗代 実勲				東山御文庫「祐真等 鴨社御法案詠草何御留 （文政9年）」（1冊、仮 綴、10-6-12、P7431）。	実勲	
文政9年 2月22日	42歳	水無瀬宮御 法案	内裏	組題20首（2 ～4字題）春 月憶昔	水無瀬山おほろににほふ月 かげにかすみし春のむかし をぞおもふ	左兵衛督	俊明	読師：共福朝臣	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。「禁中・春月憶昔」 （光格天皇合点）水無 瀬山麓ににほふ月影に かすみし春の昔をぞ思 ふ（東山御文庫「石 井光宣等水無瀬御法 案詠草何御留（文政 9年）」（1冊、仮綴、 10-6-12、P7431）。	
文政9年 2月22日	42歳	水無瀬宮御 法案	仙洞	組題20首（3 字題）庭上桜	ほらの中のかすみざりに 咲花のいく木のさくらかに 匂ふかげ	飛鳥井中納言	建房	読師：顕孝朝臣	有栖川宮本	実勲。「庭上桜」（光格 合点）此洞のかすみ（洞 の中のかすみ）みざりに 咲花のいく枝のさくら 香に、ほふかげ（東山 御文庫「石井光宣等 水無瀬御法案詠草何 御留（文政9年）」（1 冊、仮綴、10-6-12、 P7431）。	
文政9年 2月23日	42歳	当座御会	仙洞	組題30首（3 ～4字題）癡 雁離々	つれてこし友もおもはでこし 路にやわかれてかりのかへ り行そら	左兵衛督	光成	光暉	有栖川宮本	実勲	
文政9年 2月24日	42歳	月次御会	内裏	組題100首（2 ～4字題）織 女後朝、遇恋	織女後朝：あまの河けさは うき瀬に立かへり又こん秋 を望やまつらし、遇恋：い ひ出んうきとし月のうらみ を忘れて人にあふぞうれし き	民部卿	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	

文政9年 2月25日	42歳	聖廟御法条	内裏	組題5首(3 字題)花透霞	へだてもみゆるや花の色 成らん霞ににほふみよしの山	飛鳥井中納言	重能		講師：光輝	国会本内裏・有栖川宮 本	実歎。「禁中・花透霞」： (光格合点)へだてもみゆるや花の色ならん霞ににほふみよし野山(東山御文庫「三条西実歎等聖廟御法条詠草何御留(文政9年)」)1冊、仮綴、10-6-12、P7431。	
文政9年 2月25日	42歳	聖廟御法条	仙洞	組題50首(2 〜3字題)遠村花	ながめゆる遠山本の里つ き盛まがはぬ花の白雪	左兵衛督	光成	為知		有栖川宮本	実歎。「遠村花」： (光格合点)ながめゆる遠山本の里つききさかりまがはぬ花のしら雪 実歎(東山御文庫「三条西実歎等聖廟御法条詠草何御留(文政9年)」)1冊、仮綴、10-6-12、P7431。	
文政9年 2月	42歳	石清水社法条 二月		やしろ	(光格合点)九重にちかき 南のおこやの宮みをしめて 君守らし					東山御文庫「久世通理等石清水社御法条詠草何御留(文政8年)」1冊、仮綴、10-6-11、P7431。	実歎	
文政9年 3月16日	42歳	賀茂社御法条			(光格合点)紫の色を映し て口の池の岸のいはほに かゝる藤波 実歎					東山御文庫「有栖川宮 詔仁親王等賀茂社御法条詠草何御留(文政9年)」1冊、仮綴、10-6-12、P7431。	実歎	
文政9年 3月18日	42歳	神影供	内裏	高角山霞	いはみがたかつのやまの みねいくへ春ふかきいろに かすむのどけさ	飛鳥井中納言	光成	読師：源大納言、講師：正房、発声：源三位		有栖川宮本	権中納言藤原実歎	
文政9年 3月23日	42歳	於修学院御 当座	修学院	組題50首(2 字題)	詠進なし	雅光	雅光			有栖川宮本		
文政9年 3月23日	42歳	於修学院御 当座 後進	修学院	組題7首(4 字題)	詠進なし	雅光	雅光			有栖川宮本		
文政9年 3月24日	42歳	月次御会	内裏	春曙花、昔代 鞋、霧旅野	詠進なし	雅久	雅久			国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実歎	
文政9年 4月24日	42歳	月次御会	内裏	組題20首(若 竹、夏月)若 竹、夏月	若竹：夏の日のかげはへだ て、こし生のしげるもす しまの若竹、夏月：なつ の夜もふけてはをける霜の 色に月かげすゞし庭のまさ ご路	雅光	雅光			国会本内裏・有栖川宮 本	実歎。二首とも詠草右上に「後日詠進。五月十五日到来」(墨書)と注有(有栖川宮本)	
文政9年 4月30日	42歳	当座御会	内裏	組題20首(2 字題)旅夢	いくよ我なれぬたびの草 まゝ見るもみじかきふる里 のゆめ	左衛門督	重能			国会本内裏・有栖川宮 本	実歎。「旅夢」： (光格合点)いくよわがなれぬ旅ねの草眺みるもみぢかき故郷の夢 実歎(東山御文庫「日野資矩等内裏御当座詠草何御留(文政9年)」)1冊、仮綴、10-6-12、P7431。	
文政9年 4月	42歳	石清水社法条 四月			(光格合点)ほとぎすまた でもいよ鳥やどは枕にちか かき山かげのいは					東山御文庫「久世通理等石清水社御法条詠草何御留(文政8年)」1冊、仮綴、10-6-11、P7431。	実歎	
文政9年 4月	42歳	聖廟御法条 四月			(光格合点) 卯花の枝もた はくに咲みちてかこふ垣ね はまばらにもなき					東山御文庫「三条西実歎等聖廟御法条詠草何御留(文政9年)」1冊、仮綴、10-6-12、P7431。	実歎	
文政9年 5月17日	42歳	当座御会	内裏	組題30首(3 〜4字題)名 所早苗	五月雨のふるの山田には る、日をまたでも賤の早苗と るらし	民部卿	雅久			国会本内裏・有栖川宮 本	実歎。「名所早苗」： (光格合点)五月雨のふるの山田にはるひをまたでや(も)しづの早苗取らし 実歎(東山御文庫「日野資矩等内裏御当座詠草何御留(文政9年)」)1冊、仮綴、10-6-12、P7431。	
文政9年 5月24日	42歳	月次御会	内裏	山郭公、浦郭 公、里郭公	山郭公：おき出ておりしも きくや郭公ありあけの山の 月になくふ。浦郭公：あま 人やふねもめできくら波に 声もおしまず鳴ほとぎす。 里郭公：きこふるす人はあ りとも時鳥こまたえずなけ い里の空	左兵衛督	為全			国会本内裏・有栖川宮 本	権中將藤原実歎	
文政9年 6月15日	42歳	当座御会	内裏	組題20首(3 〜4字題)	詠進なし	左兵衛督	建房			国会本内裏・有栖川宮 本		
文政9年 6月24日	42歳	月次御会	内裏	組題33首(か やな題)ふ まぶき、つ づる	ふ、やまぶき：ふく風にちり しく花の色かへて春をふる さす咲るやまぶき、つづ る：つりなす御池のきしの 松のかげ心のどかにあさ る友づる	飛鳥井中納言	雅久			国会本内裏・有栖川宮 本	実歎	
文政9年 6月25日	42歳	聖廟御法条	内裏	組題50首(3 〜4字題)垣 夕顔	よりてみん色も涼しき露が やの垣ねにさける露の夕が ほ	民部卿	重能	講師：顕孝朝臣		国会本内裏・有栖川宮 本	実歎。「禁中・垣夕顔」： (光格合点)ほとぎすす年もこにこ迄絶ず神のいがきの松にからへ(東山御文庫「三条西実歎等聖廟御法条詠草何御留(文政9年)」)1冊、仮綴、10-6-12、P7431。	
文政9年 6月25日	42歳	聖廟御法条	仙洞	組題25首(3 〜4字題)社 頭郭公	ほとぎすすちとせもこいに声 たえず神のいがきの松にか たらへ	為則	為則	講師：隆光		有栖川宮本	実歎。「社頭郭公」： (光格合点)ほとぎすす年もこにこ迄絶ず神のいがきの松にからへ(東山御文庫「三条西実歎等聖廟御法条詠草何御留(文政9年)」)1冊、仮綴、10-6-12、P7431。	
文政9年 6月	42歳	石清水社法条 六月			(光格合点) むかひみる山 より山のをしなべて降つ けさの雪ぞさやけ					東山御文庫「久世通理等石清水社御法条詠草何御留(文政8年)」1冊、仮綴、10-6-11、P7431。	実歎	
文政9年 7月7日	42歳	七夕御会	内裏	七夕述懐	世にしらぬ星の心をおもふ そぞらにちぎりし秋のひと 夜は	民部卿	為全			国会本内裏・有栖川宮 本	中納言藤原実歎	

文政9年 7月17日	42歳	賀茂社御法 案		池辺薄遊	(光格合点) 影うつす水 かれがれの(もにこらぬ) 池 まきしにおばなや波の色をみ ずらん				東山御文庫「有栖川宮 頼仁親王等賀茂社御法 案詠草御留(文政9 年)」(1冊、仮綴、10- 6-12、P7431)。	実勲		
文政9年 7月24日	42歳	月次御会	内裏	蘭、蚕、恨	蘭：花の色はほころび匂ふ ふち袴きてみる人もあらぬ 野原に、蚕：ながきよの思 ひやおなじきりぎりすなきよ る声を枕にぞ聞、恨：吹 かへす葛のうら風うらむる も人の心の秋にあひにけり	左兵衛督	建房		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政9年 7月	42歳	聖廟御法 案七月		鹿鳴秋歌	(光格合点) うつろは、恨 てや鳴秋はぎの花におきふ ず野べのさをしか				東山御文庫「三条西 実勲等聖廟御法案詠草御 留(文政9年)」(1 冊、仮綴、10-6-12、 P7431)。	実勲		
文政9年 8月16日	42歳	当座御会	内裏	組題20首(3 字題)	詠進なし	飛鳥井中納言	為則		国会本内裏・有栖川宮 本			
文政9年 8月24日	42歳	月次御会	内裏	組題20首(4 字題) 名所山 月、名所海月	名所山月：ひばら吹あらし につれてはつせ山すみのぼ る月の影ぞさやけき、名所 海月：浪の上のかけもへた てずいせの海きよきなきさ に月ぞすみぞふ	左兵衛督	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政9年 8月24日	42歳	賀茂社御法 案		寄月述懐	(光格合点) むかひみる月 わいく世の(御きみる月は 神世の) 上るよりかはらぬ かげに 今もすむらん(すみ まさるらん)				東山御文庫「有栖川宮 頼仁親王等賀茂社御法 案詠草御留(文政9 年)」(1冊、仮綴、10- 6-12、P7431)。	実勲		
文政9年 8月	42歳	聖廟御法 案八月		橋月	(光格合点) 松に吹よさの 浦風をとふけて月す渡る 天のはし立				東山御文庫「三条西 実勲等聖廟御法案詠草御 留(文政9年)」(1 冊、仮綴、10-6-12、 P7431)。	実勲		
文政9年 9月9日	42歳	重陽御会	内裏	庭籬菊	きみがみんまがきはやまじ さく菊の花はとせのこの へには	左衛門督	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	実勲上・禁中重陽御 会・庭籬菊：(光格合 点) 君がみまがきは 山路さく菊のはなはちと せの九重の庭(千々の 秋と秋入候)、さきしり あかぬにほひもあきく 世つきぬまがきの底のし ら菊(180)	
文政9年 9月18日	42歳	賀茂社御法 案		杜紅葉	(光格合点) 置残す露なかり ける(9) 下枝まで干入 に楽し杜の紅葉				東山御文庫「有栖川宮 頼仁親王等賀茂社御法 案詠草御留(文政9 年)」(1冊、仮綴、10- 6-12、P7431)。	実勲	実勲上・賀茂社御法 案・杜紅葉：をきこ す露なかりける(9) 下 枝まで干しほにそめし りの紅葉を、ぬれてほす つゆに一しほ色ぞいふ あかぬけしきの杜のもみぢ は(24)	
文政9年 9月24日	42歳	当座御会	内裏	組題30首(3 ~4字題) 紅 葉映日	紅葉のこすこすもみえずくれ なみのいろは日かげに猶ま さるらん	左衛門督	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。[紅葉映日：(光 格合点) 葉残る(す) 梢もみえずくれなみのい ろは日影に猶 やわく(ま さる) らん] (東山御文 庫「日野實矩等内裏御 当座詠草御留(文政 9年)」(1冊、仮綴、 10-6-12、P7431)。		
文政9年 9月24日	42歳	月次御会	内裏	紅葉有浅深、 対月惜秋、瀟 音幽	紅葉有浅深：染つくす干 しほの木々のなかに又薄き は、その色もまじれる、対月 惜秋：行秋をおしとおもひ て有明の月にぞむかふ山の はのかげ、瀟音幽：雲いく 重つむそなたの高ねより 音もかすかに落ちる瀟なみ	為則	為則		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政9年 9月28日	42歳	当座御会	仙洞	組題30首(1 ~2字題) 藤	藤よりいろいろちはえてこす ふくかぜにをとすまつ の藤波	飛鳥井中納言	建房		有栖川宮本	実勲		
文政9年 10月18日	42歳	於修学院御 当座	修学院	組題30首(3 ~4字題)	詠進なし	為全	為全		有栖川宮本			
文政9年 10月18日	42歳	於修学院御 当座 後座	修学院	組題6首(3 字題)	詠進なし	為全	為全		有栖川宮本			
文政9年 10月24日	42歳	月次御会	内裏	組題100首(1 ~4字題) 秋	晩蒼：はげしくも露こし 空に紅みえてほどなくはる 立のくも、夜窓：あふと見 しゆめは跡なくさるる夜に 絶々のこるねやのともし火	左衛門督	重能		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政9年 11月24日	42歳	月次御会	内裏	名所山雪、名 所野雪、名所 浦雪	名所山雪：はなもみぢしら ぬときはの山かげにふりつ む雪の色ぞ木深き、名所 野雪：八千さのほなのさが が野々おもかげもふりうづ む今朝の雪にむする、名 所浦雪：しほたる、そでの うら風音さえてふりつむ雪 をあまやみるらん	飛鳥井中納言	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政9年 11月	42歳	水無瀬宮法 案 十一月		眺望	(光格合点) 眺たつ波もし づかにわたの原 みるめは てなき(みるめをそへて) は る遠しよ				東山御文庫「石井光 寛等水無瀬宮法案詠草御 留(文政9年)」(1 冊、仮綴、10-6-12、 P7431)。	実勲		
文政9年 12月14日	42歳	賀茂社御法 案		薄	(光格合点) 萩の葉にあ らぬ薄も秋風のやどりとみえ てなびくはかなさ				東山御文庫「有栖川宮 頼仁親王等賀茂社御法 案詠草御留(文政9 年)」(1冊、仮綴、10- 6-12、P7431)。	実勲		
文政9年 12月21日	42歳	当座御会	内裏	組題30首(3 字題) 暮春菊	おしみてもくれゆく春にさ はれてふるすにかけへる菊の こゑ	民部卿	為脩	講師：隆光	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御当座・ 暮春菊：(光格合点) おしみてもくれゆくはるに さははれてふるすにかけへ る菊のこゑ、うぐひすも ちりのこる花の枝しめて くれゆく春をおしめてや 囀(181)	
文政9年 12月21日	42歳	(伊勢御伝 受後) 御当 座(三十首)	内裏	欄上苔	松かげの千年をかけてはふ 吉のみどりわたらず浪の岩 はし				東山御文庫「日野實 矩等内裏御当座詠草御 留(文政9年)」(1 冊、仮綴、10-6-12、 P7431)。	実勲		

文政9年 12月25日	42歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 ~3字題)残 月	鳥のねにおきてへみれば 月はまだあけ行空に影ぞの これる	民部卿	雅久		有栖川宮本	実勲		
文政9年 12月24日	42歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題)市 歳暮、冬望	市歳暮：くれけ行年のさか ひはうる時ときそひあらそひ たつの市久、冬望：木々 はけさはるまつ花のおもか げにふりつむ雪のなめえ なれぬ	左兵衛督	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政9年 12月	42歳	石清水社法 案 十二月	藤		(光格合点) 山人のつま木 の底のつわらびわが家づ とに折やそふらん				東山御文庫「久世通理 等石清水社御法案詠草 御留(文政8年)」(1 冊、仮綴、10-6-11、 P7431)。	実勲		
文政9年 12月	42歳	水無瀬宮法 案 十二月		き 深雪	(光格合点) きのふよりつも るがうへに今朝も又ひかり 重なる雪の白妙				東山御文庫「石井光宣 等水無瀬御法案詠草御 留(文政9年)」(1 冊、仮綴、10-6-12、 P7431)。	実勲		
文政10年 1月18日	43歳	御会始	仙洞	雪透霞	さほひめのつむかすみの そでのうちにみゆるやゆき の残るやの瑞	民部卿	雅久	講師：民部卿、講師：正房、発声： 雅久	有栖川宮本	権中納言藤原実勲		
文政10年 1月28日	43歳	和歌御会始	内裏	毎日有春色	むめかほりやなぎさくらら日 にそひてのどけきはるのい ろやみすらむ	左兵衛督	為脩	講師：皇太后宮権大夫、講師： 共福朝臣、発声：左衛門督	国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政10年 2月13日	43歳	当座御会	内裏	組題30首(4 字題)欲出詞 恋	ひひ出てのちのつらさはま さるとももらしめましふか きおひを	左兵衛督	光成	講師：顕孝朝臣	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政10年 2月22日	43歳	水無瀬宮御 法案	内裏	組題20首(2 ~3字題)	詠進なし	左衛門督	光成	講師：為知	国会本内裏・有栖川宮 本			
文政10年 2月22日	43歳	水無瀬宮御 法案	仙洞	組題20首(2 ~4字題)田 家春雨	しづがむ田づらの里はの どかにもかすみてくる、春雨 のそら	雅久	雅久	講師：共福朝臣	有栖川宮本	実勲		
文政10年 2月23日	43歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 字題)河霧	さすねのをとはきこえて立こ めしきの下行よどの川ふ ね	左衛門督	重能	講師：為知	有栖川宮本	実勲		
文政10年 2月24日	43歳	月次御会	内裏	組題20首(2 字題)夜花、 園花	夜花：盛なる色にもほひも あかぬよのはなの梢にかす む月かけ、園花：いく春も 節その露に咲は女のふらり せぬいろを君やみららん	飛鳥井中納言	重徳		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政10年 3月2日	43歳	聖廟御法案	仙洞	組題10首(3 字題)名所桜	よしの山幾木の桜咲しより ふるるとかけて匂ふはるか せ	飛鳥井中納言	俊明	講師：隆光	有栖川宮本	実勲		
文政10年 3月18日	43歳	神影供	内裏	春日望山	まきあぐるこすのとやまのみ ねいくへかすむながめのは るの日はがさ	左衛門督	重能	講師：按察大納言、講師：光輝、 発声：左衛門督	有栖川宮本	権中納言藤原実勲		
文政10年 3月24日	43歳	月次御会	内裏	簾外鶯、名所 藤、契別恋	簾外鶯：わすれずもつぼめ やつきこすの外になれに しこそ古巣とふ声、名所 藤：時わかぬときはのり にさきがけてはるのいと や匂ふ藤なみ、契別恋：く りかへしまたのあふよをも るものにちきわかれの衣た の空	左衛門督	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政10年 3月25日	43歳	聖廟御法案 [去月分]	内裏	組題50首(2 字題)旅友	けふいく日かたらふたひの 友なればつかるい道のつさは まきらん	民部卿	雅光	講師：正房	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政10年 3月26日	43歳	和歌当座御 会	内裏	組題20首(3 字題)里歌冬	たちりよてさかりみよとは山 里にうへもをかじやまよ きの花	飛鳥井中納言	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政10年 4月24日	43歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題)春 月、賀茂	春月：さよ深く光ぞ匂ふ春 の月かすめる空にかたぶく はおし、賀茂：上下のこ のみやしる年毎に神まつり してはふ氏人	左兵衛督	為則		国会本内裏・有栖川宮 本	二首とも詠草の右上に 「後日詠進。五月廿四 日御到来。即日御順達」 (墨書)と注有(有栖 川宮本)		
文政10年 5月24日	43歳	月次御会	内裏	夏月透竹、水 鶏、雨後山水	夏月透竹：すししくも薫分 のかげにもる月のかけさだ まらぬ竹の一むら、水鶏： まつ人のあらばこたへよあく るまでまが造のいた戸をた く水鶏に、雨後山水：やま 水のあるかなきかにこけつ たふしづくも雨のはれてま されり	民部卿	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲、詠 草に「後日詠進」(墨書) と注有(有栖川宮本)		
文政10年 6月7日	43歳	当座御会	内裏	組題24首(1 字題)扇	ねやのうちにいよなよな も手ぬれぬるあふきの風は すしりけり	左兵衛督	建房		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政10年 6月24日	43歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題)故 郷歌、網代	故郷歌：うへてみしたが跡 ならむ咲萩のひとり露けき ふるさとの庭、網代：よる ひを、あじろの床に待あか す袖さくらじうちの川風	左衛門督	重能		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政10年 6月25日	43歳	聖廟御法案	内裏	組題10首(2 字題)夏秋	夏草の葉山にあきをまたで 先さまじる秋の花もこそあ れ	飛鳥井中納言	為全	講師：隆光朝臣	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政10年 6月25日	43歳	聖廟御法案	仙洞	組題50首(2 字題)新樹	あかでみし梅も桜もいづれ とわかぬ梅の若葉さしそ ふ	左衛門督	為脩	講師：光輝	有栖川宮本	実勲		
文政10年 後6月11 日	43歳	当座御会	内裏	組題20首(3 字題)	詠進なし	民部卿	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本			
文政10年 後6月24 日	43歳	月次御会	内裏	秋花夏間、納 涼水、閑声恋	詠進なし	左兵衛督	光成		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政10年 7月7日	43歳	七夕御会	内裏	天河	ほしあひのかげみるそらの 晴わたりすしくかよふあま のかはかせ	左衛門督	光成		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		家勲上・筑中七夕御会・ 天河：あまの河いく世あ ふ瀬のたえせしとちぎり ふかぬむ水のみなみ、 (光格合点) ほし合の かけみる空のはれわたり すしくかよふあまの河風 《千秋と祝儀》(125)
文政10年 7月24日	43歳	月次御会	内裏	組題20首(1 字題)蘭、蚕	蘭：さぐにの糸はあだなる とちめてほこつび匂ふ藤 はかまかも、蚕：ながき夜 のののおもひをきりぎりす ねにたて、鳴あさぢふの露	民部卿	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政10年 8月16日	43歳	当座御会	内裏	組題30首(3 ~4字題)原 さ	あさぢ原所せきまでを(露) にやどれる月の影のさけさ	雅久	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		

文政10年 8月24日	43歳	月次御会	内裏	小鷹狩、馴月、水邊秋	小鷹狩：朝まだき小鷹ひきそへかり次出たつ野べの露にぬれけり、馴月：言の葉をかはさでなるともながら袖とふ月の影ぞしたしき、水邊秋：吹ながす秋風みよて水の上にとらむちはるいけさの川ぎり	左兵衛督	建房		国会本内裏・有栖川宮本	権中将藤原実勲	
文政10年 9月9日	43歳	重陽御会	内裏	菊句留袖	おるそでにあかぬはほきをよめつ千世のかざしのしらぎくのはな	飛鳥井中納言	俊明		国会本内・裏有栖川宮本	権中納言藤原実勲	実勲上・禁中重陽御会・菊句留袖：(光格合点)おる袖にあかぬ切ひをとめけん(つゝ)千世のかざしのしらぎの花、君がへむちよをみかきにつむきの花の春にはふ袖の秋かぜ《千秋と祝候》(115)
文政10年 9月21日	43歳	於修学院御当座	修学院	組題30首(2字題)	詠進なし		雅久	雅久	有栖川宮本		
文政10年 9月21日	43歳	於修学院御当座 後座	修学院	組題6首(3～4字題)	詠進なし		雅久	雅久	有栖川宮本		
文政10年 9月24日	43歳	月次御会	内裏	組題100首(1～4字題)泉恨	泉：影うかぶ月をまつの手すさびに結ぶ泉の水のすゞしさ、恨：秋にうつる人のこころの色みえて恨たえせぬ風のくずはら	左衛門督	雅光		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政10年 10月19日	43歳	当座御会	内裏	組題10首(1～2字題)田歌	秋はてたれかとふさべ小山田にのこるもさびしわらのかりほ	飛鳥井中納言	重能		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政10年 10月24日	43歳	月次御会	内裏	時雨、落葉、恋風	時雨：まどうちをさすや夕日のかげながら時雨しるうき雲の空、落葉：みるもおし風のまにまにさそはれて木葉はもみちりつもるかぜ、恋風：松の月にさくもつれなくこのゆふべ心さはがす風のをとづれ	民部卿	光成		国会本内裏・有栖川宮本	権中納言藤原実勲	
文政10年 11月24日	43歳	月次御会	内裏	組題100首(2～4字題)浦伝千鳥、寄碇恋	浦伝千鳥：すむ月の影みぬ波の浦つたひ鳴や千鳥の声ぞさえ行、寄碇恋：波におろすあまの小ぶねのいかりなほ長き思ひの恋にしづま	左兵衛督	為全		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政10年 11月27日	43歳	当座御会	内裏	組題30首(3～4字題)朝籠煙	やまの袖さむからじあさ風のけふりふさしをのすみがま	為全	為則		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政10年 12月17日	43歳	当座御会	内裏	組題30首(2～3字題)	詠進なし	民部卿	雅久		国会本内裏・有栖川宮本		
文政10年 12月18日	43歳	当座御会	仙洞	組題30首(2字題)岡葛	影やどる露ふきちらす風を月にうらみん岡の葛	飛鳥井中納言	光成		有栖川宮本	実勲	
文政10年 12月24日	43歳	月次御会	内裏	千どり、うづみび、年のくれ	千どり：よの跡思ふわかかの浦波に心をよせて千鳥鳴こゑ、うづみび：冬さむき雪もあらしも窓のちかむずれて向ふよはの増火、年のくれ：花紅葉みし春あきも過ぎきて暮行年ぞおしまれにける	飛鳥井中納言	俊明		国会本内裏・有栖川宮本	権中納言藤原実勲	
文政11年 1月18日	44歳	御会始	仙洞	河橋春風光	のどけさはむかふ日ごとにやはらくるはるのひかりのかぜもかすみ	左衛門督	重能	読師：日野前大納言、講師：光輝、発声：左京大夫	有栖川宮本	権中将藤原実勲	
文政11年 1月24日	44歳	和歌御会始	内裏	鶯鳴梅	こゑのうちに千とせをこめて梅つぼの花にさへづるはるのうづみ	民部卿	為全	読師：源大納言、講師：隆光朝臣、発声：左兵衛督	国会本内裏・有栖川宮本	権中納言藤原実勲	
文政11年 1月26日	44歳	当座御会	内裏	組題30首(3～4字題)梅花風静	君が代の千世のかざしとめるく吹かせぬどかに匂ふ梅が	左兵衛督	為脩	講師：正房	国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政11年 2月10日	44歳	当座御会	仙洞	組題30首(4字題)	詠進なし	民部卿	為脩	講師：為脩	有栖川宮本		
文政11年 2月22日	44歳	水無瀬宮御法案	仙洞	組題20首(2字題)雪朝	ふりつみてはるあさ日に白妙のひかりかまやくゆきの山端	飛鳥井中納言	重能	講師：光輝	有栖川宮本	実勲	
文政11年 2月23日	44歳	当座御会	内裏	組題20首(2字題)鎖花	強いく重きさかなる花の色はあかぬながめのよしの春	飛鳥井中納言	光成		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政11年 2月24日	44歳	月次御会	内裏	組題100首(3字題)夕鷹狩、名所市	暮きつ：夕日かげのこる左野にたつ鷹をたかきすへて猶やたねん、名所市：朝な夕なあらそひたちてゆきにもなにをとめむ辰の市人	左兵衛督	光成		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政11年 2月25日	44歳	聖廟御法案	内裏	組題50首(1字題)蕨	暮きぬと秋のやばらかさわけてもゆるさわらびおるもめづらし	飛鳥井中納言	建房	講師：隆光朝臣	国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政11年 2月25日	44歳	聖廟御法案	仙洞	組題50首(2～3字題)蘆橋	すみすてし昔しのべど今も猶はなたち花の匂ふふるさと	雅久	雅久	講師：重基朝臣	有栖川宮本	実勲	
文政11年 3月18日	44歳	神影供	内裏	瑞籬花	さかへゆくはなもい世のいろをへてこのみづがきのはるにさかしら	民部卿	為全	読師：皇太后宮権大夫、講師：光政、発声：前新源大納言	有栖川宮本	権中将藤原実勲	実勲上・神影供・瑞籬花：(光格合点)さかへ行はなもい世の色をへて此みづがきの春に咲らし《千春祝入候》、神やみん此みづがきにさいいでいにほひはるる花はいくはる(113)
文政11年 3月22日	44歳	水無瀬宮御法案(去月分)	内裏	組題20首(3字題)寄雅恋	あふ事はかた山きますわれもまたなくねを人にかくとづけまし	雅光	雅光	講師：重基朝臣	国会本内裏・有栖川宮本	実勲	
文政11年 3月24日	44歳	月次御会	内裏	遊糸、蛙、達恋	詠進なし	右衛門督	雅久		国会本内裏・有栖川宮本	権中納言藤原実勲	
文政11年 3月26日	44歳	当座御会	内裏	組題30首(3～4字題)	詠進なし	右衛門督	建房		有栖川宮本		
文政11年 3月23日	44歳	於修学院御当座	修学院	眺望春	詠進なし		為則	為則	有栖川宮本		
文政11年 3月23日	44歳	於修学院御当座 後座	修学院	組題30首(3～4字題)	詠進なし		為則	為則	有栖川宮本		
文政11年 4月23日	44歳	和歌当座御会	内裏	組題20首(3～4字題)葛城山(春)	春がすみへたてぞみるかつらやたかねに匂ふ花のしら雲	民部卿	為全		国会本内裏・有栖川宮本	実勲	実勲上・禁中御当座・春・葛城山：(光格合点)春がすみへたてぞみるかつらぎやたかねに匂ふ花のしら雲、よそながみらるもえならぬさく花の白雲がかつらぎの山(94)

文政11年 4月24日	44歳	月次御会	内裏	組題31首(2 ~3字題) 卯 花、五月雨	(刷改) 卯花：ふくるとま かりの色にしらでみる卯花 月夜かけのさやけさ、五月 雨：日にそてて水まざりけり 飛鳥川ふちせぞわかぬ五 月雨の比	民部卿	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		実勲上・恭中御月次・ 卯花：(光格合点) 更 るとまかりの色にしら でみる卯花月夜影のさ やけさ、卯花のさかりの ころはゆきとみて道をぞ たどる小野・山人、五 月雨：をやみなくふりぬ るほどまかりありて今 朝ははれ行五月雨の雲、 (光格合点) 日にそて て水まざりけり飛鳥川ふ ちせぞわかぬ五月雨の ころ(71・72)
文政11年 5月21日	44歳	当座御会	内裏	組題30首(3 ~4字題) 岡 郭公	ひとこを聞くの松のした かげにやすらひてきく山ほ とぎす	左衛門督	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政11年 5月24日	44歳	月次御会	内裏	早苗多、五月 雨、海上舟	早苗多：かへるべき里やち かしとくるまで小田のさな へをとれどつきせぬ、五月 雨：つねはせく岩にも瀧の しる糸をかける御池のさみだ れの比、海上舟：浦とせく みるめをそへてなみの上こ るあるあまの舟やうかべる	左衛門督	建房		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政11年 6月19日	44歳	当座御会	内裏	組題20首(3 ~4字題)	詠進なし	左兵衛督	顕孝		国会本内裏・有栖川宮 本			
文政11年 6月24日	44歳	月次御会	内裏	組題20首(1 ~6字題) 遊 糸、唐人	遊糸：くれがたき春の日影 を中空にむすびとめてやあ そぶ糸ゆふ、唐人：わが国 にもろこし人やさまざまのつ たへし文のをしへをもむむ	民部卿	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政11年 6月25日	44歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(2 字題) 春河	さかへるあらしやさちらうち とけ水をなむす春の山河	左衛門督	光成	講師：正房	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政11年 6月25日	44歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(2 ~3字題)： 夏威	身をつみをながせるあさの ゆふに川よる波すし夏もど まぜ	民部卿	為稀	講師：為知	有栖川宮本	実勲		
文政11年 7月7日	44歳	和歌御会	内裏	七夕琴	ほしまつる空に手向るたま ごのいとまたえせぬしらべ うくりし	左兵衛督	光成		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政11年 7月24日	44歳	月次御会	内裏	風庭萩、尋虫、 恋餘波	風庭萩：あきさのふけゆ く軒のした萩のをとづれた えぬふはのさびしき、尋虫： 暮の露のけゆかたにをま はしてありかさだめぬ野べ の松むし、恋餘波：しら れいと鳥のねまらずおきい でかへるわかれの名残つ きせじ	左兵衛督	顕孝		国会本内裏・有栖川宮 本	権中将藤原実勲		
文政11年 8月24日	44歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~3字題) 秋 風、秋杜	秋風：末とをく小田のいな ばの打なびきはなみをわた る秋のゆかぜ、秋杜： 露しもの染つくしけり幾干 しほあかぬけしきの杜の紅 葉	飛鳥井中納言	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政11年 8月25日	44歳	当座御会	内裏	組題30首(3 ~4字題) 名 所春曙	浦遠く月ものこりて難波が た入江かすめる春の朝ば の	飛鳥井中納言	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		実勲上・恭中御当座・ 名所春曙：(光格合点) 波の上に(浦とをく)月 ものこりてなにはがた かすむ入江の(入江 かすめる)春のあけぼ の、いつはあれどあか ぬがめのさほ川や水 のけがりもかすむあけぼ の(100)
文政11年 9月9日	44歳	重福御会	内裏	菊匂随風	きみがへむ千世もみかきの 秋風のにはひは菊のはなに つきせじ	民部卿	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政11年 9月24日	44歳	月次御会	内裏	秋山朝、秋野 夕、秋浦夜	秋山朝：しぐれをままたで や露の朝な南山の木の本 葉の色そへにけり、秋野夕： をのがふす野べのあさぢの ところえて夕さびしく静なく 声、秋浦夜：あまのすむ 浦のとよやに波かぜのよま むの衣うちもたゆまず	雅久	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政11年 10月24日	44歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題) 暮 天残雁、冬恋	暮天残雁：秋かぜにをくれ しかりやふる雪の此ゆふく れにきてきぬらむ、冬恋： 冬の夜のながき契りを たのみとひとりね葉き床 のさむしむ	左衛門督	顕孝		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲、二首ともに「後 日詠進」(墨書)と注有 (有栖川宮本)		
文政11年 11月24日	44歳	月次御会	内裏	月光映水、寒 雁添声、閑路 行客	詠進なし	左兵衛督	為稀		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政11年 12月24日	44歳	月次御会	内裏	組題100首(1 ~2字題) 郭 公、	郭公：おきいで、折しもきく や郭公有明の月の空になく 声、夢：ながき夜を心やす めてぬるが内に夢にいし世 の昔をぞみる	飛鳥井中納言	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政12年 1月18日	45歳	御会始	仙洞	水消雪残	はるまでものこれぞこのゆ きさむきほりはとけしけの のみぎはに	左兵衛督	顕孝	講師：按察大納言、講師：光政、 発声：飛鳥井中納言	有栖川宮本	権中納言藤原実勲		
文政12年 1月24日	45歳	和歌御会始	内裏	浪澄鶴影浮	われてあるあしべのたづの 干世のかけうつつてするめ わのうら波	左衛門督	光成	講師：民部卿、講師：重基朝臣、 発声：源三位	国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲		
文政12年 1月26日	45歳	当座御会	内裏	組題30首(3 字題) 田上屋 左	峯こえてふもの小田に此 ゆふべつらおつる秋の雁 がね	民部卿	雅光	講師：光政	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		
文政12年 2月22日	45歳	水無瀬宮御 法楽	内裏	組題20首(4 字題) 竹近 閑鶯	かはらず軒端の竹の春毎 に千世をこめてやきみるう くひす	飛鳥井中納言	雅久	講師：光政	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		実勲上・恭中水無瀬宮 御法楽・竹近閑鶯：(光 格合点) かはらず軒 端の竹の 葉がくれ(ほ るごと)に千世をこめて やきみるうくひす、まどち かくとひきてなるうくひ すのなくねもあかぬくれ 竹のかけ(156)
文政12年 2月24日	45歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題) 嶺 花、崎花	嶺花：たぐひなきみねより みねに咲つゞくかぎりやい づこみよしの、花、崎花： 吹おつむらひの山かぜにせ よはなさかりなるしがのから さき	民部卿	顕孝		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲		

文政12年 2月25日	45歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(2 ~4字題)名 所梅	行てみむ道のしるべと匂 くるさそふ梅づの里の春風	左兵衛督	俊明	講師：為知	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中聖廟御法 楽・名所梅：うらゝか にかすむ難波の浦かぜ に江をたく匂ふ梅 が、(光格合点)行て みむ道のしるべとにほ くさそふ梅づの里のは る風(64)
文政12年 2月30日	45歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 ~3字題)別 恋	こと葉へのこはとおしと思 ふ夜を明しもはてすいそく 別路	左衛門督	光成	読師：隆光朝臣	有栖川宮本	実勲	
文政12年 3月7日	45歳	当座御会	内裏	組題20首(2 字題)春海	春にふくいそ山あらしをた えてみるめのどかにかすむ 海づら	左衛門督	為梅		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政12年 3月22日	45歳	水無瀬宮御 法楽(去月 分)	仙洞	組題20首(2 字題)春燈	まどのうちにさしいる影もか ずむ夜の月にそむくる春の ときしほ	民部卿	雅久	読師：為知	有栖川宮本	実勲	
文政12年 3月25日	45歳	聖廟御法楽 (去月分)	仙洞	組題10首(4 字題)花為春 友	ながき日をこと葉かはさぬ あまみでなくさむ花のさかり えならぬ	飛鳥井中納言	建房	読師：隆光朝臣	有栖川宮本	実勲	
文政12年 3月26日	45歳	於修学院御 当座	修学院	春日遊覧	詠進なし		雅光		有栖川宮本		
文政12年 3月26日	45歳	於修学院御 当座(後座)	修学院	組題30首(2 ~3字題)	詠進なし		雅光		有栖川宮本		
文政12年 3月28日	45歳	月次御会	内裏	梨花、杜若、 躑躅	梨花：月雪にまがひし梅の 色よりもなを白妙の山なし の花。杜若：くれて行春の なごりもかきつばた花さきか こふ池のみぎはは、躑躅： かへるさむむすれでぞ見る あしひきの山辺のつじ花 の一しほ	為全	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政12年 4月18日	45歳	神影供	内裏	首夏新樹	あるはなのあとにはあを葉の わかみどりすしくしけるな つはきにけり	左兵衛督	顕孝	読師：按察大納言、講師：為知、 発声：源三位	有栖川宮本	権中納言藤原実勲	
文政12年 4月24日	45歳	月次御会	内裏	組題10首(5 字題)梅花琴 上舞、老鶴立 池岸	梅花琴上舞：つまごとのし らべにかよふはる風に軒は の梅の花ぞみだたか、老鶴 立池岸：まのがへしよはひ やく世しらつるの池のきし ねになれてたつらし	雅光	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政12年 5月15日	45歳	当座御会	内裏	組題30首(2 ~4字題)暮 春鶯	とよまらぬ名残にぞきく鶯も 春のわかれの夕ぐれのこま	左兵衛督	光成		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政12年 5月24日	45歳	月次御会	内裏	夏草、照射、 恋月	夏草：ふきわくる夕風みえ てひとつ色になびくもすゞし 庭の夏草、照射：後の世 のつみをしらでますらあ がいくよ山辺ともしさすら む、恋月：まちふけてかた しく袖のたまくらちぎらぬ 月のとふ影もうし	民部卿	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	実勲上・禁中御月次・ 夏草：(光格合点)ふ きわくる夕風みえてひと つ色になびくもすゞし庭 のなつ草。子日せしこま つが原もうつれぬ草の 葉たかくしげりそらむ。 照射：(光格合点)後 の世のつみをしらでま すらあ(の)いくよ山 辺にともしさすらし(む)、 なくねもたてぬは山の 鹿やさぞいくよともしに 身をこがすらむ。恋月： (光格合点)待ふけて かたしく袖のたまくらち ぎらぬ月のとふ影もうし、 もろともにしよわすれ ぬ面かけをよなよなそ ふ月ぞつれなき(4・5)
文政12年 6月8日	45歳	当座御会	内裏	組題20首(2 字題)嶺雲	そら高月はのこりてあけぬ るか一すぢしらむみねのよ こくも	飛鳥井中納言	建房		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中御当座・ 嶺雲：夕ぐれそなた のみねとさしかへる色な き雲のからむら、(光 格合点)そらたか月 はのこりてあけぬるか一 すぢしらむみねのよこ (37)
文政12年 6月24日	45歳	月次御会	内裏	組題50首(3 ~4字題)蚊 遣火煙、故郷 舞	蚊遣火煙：くれゆげばのき にくらすかや火のけふり の末に遠さかる声、故郷 舞：ふる里の軒ばの松にこ と、へばなきたつ舞の声は かりして	左兵衛督	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政12年 6月25日	45歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(3 字題)独述懐	をろかなるわが身にあまるく らら山のはりし君のめくみ をぞ思ふ	左衛門督	顕孝	講師：隆光朝臣	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政12年 6月25日	45歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(1 字題)重	花の色はこきむらさきにす みれ草さきてまがきの春お しむらむ	左衛門督	光成	講師：正房	有栖川宮本	実勲	
文政12年 7月7日	45歳	七夕御会	内裏	乞巧奠	ほしまつる手向のにはのと もし火のかげもふけゆく ほのすしき	飛鳥井中納言	建房		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政12年 7月24日	45歳	月次御会	内裏	権、露、笹	権：中がきのへだてをこし てごなたにもはなのかずか すみずる朝露、露：ふきわ たる小野のしの原かぜ見え てきあまる露の玉や散ら ん、笹：おほみ河いはこす なみのはやし瀬はたむい かたをたしなれけり	民部卿	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政12年 8月28日	45歳	(去廿四日 御延引)月 次御会	内裏	組題50首(3 ~4字題)古 渡月、月前踊	古渡月：夕露のへだてもは にいづみ川とをきわたり にすめる月かけ、月前踊： かたぶくをおしと思ふよも あけぬとや月になくらむ夕 づのこま	左衛門督	光成		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政11年 9月9日	45歳	重陽御会	内裏	菊粧如錦	江にあらふにしきもかくや さまじるみいけのきしのむら ぎくのほな	右兵衛督	顕孝		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政12年 9月14日	45歳	於修学院御 当座	修学院	山水秋深	詠進なし	為全	為全		有栖川宮本		
文政12年 9月14日	45歳	於修学院御 当座(後座)	修学院	組題30首(3 ~4字題)	詠進なし	為全	為全		有栖川宮本		

文政12年 9月24日	45歳	月次御会	内裏	掃衣、紅葉、 逢恋	掃衣：もしほむ袖のうら 風身にしてみなみかけころ もあまやうつらも、紅葉： 秋ふかく千しほにそめてをく ら山みゆきをまつやみねの 紅葉、逢恋：こえかねしこ りの胸のゆるしてやはほす 契りのあふ坂のやま	飛鳥井中納言	為脩	月次御会	国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政12年 10月7日	45歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 ~3字題)七夕	君がへむく世の秋をためし にてちぎりたえせぬほし のそら	民部卿	為脩		有栖川宮本	実勲	
文政12年 10月13日	45歳	和歌当座御 会	内裏	組題20首(3 字題)瀬雨過	岩つたふ瀬のひききの音そ へてまなくくる、風のうき 雲	飛鳥井中納言	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政12年 10月24日	45歳	月次御会	内裏	組題67首(1 ~4字題)帰 雁、懐旧	帰雁：戻はなのみやこの春 をよそにみてかすむ雲路を かへる雁かぬ、懐旧：水く きのかきのごす跡をみるに 猶みちのをしへの昔をぞお もふ	民部卿	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政12年 11月24日	45歳	月次御会	内裏	浦伝千鳥、夜 寒重衣、雪中 眺望	詠進なし	飛鳥井中納言	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政12年 12月2日	45歳	当座御会	内裏	組題30首(3 ~4字題)名 所昔語	五月雨に水もまたのいけ ひろみおひたつあやめかほ るすしき	民部卿	顕孝		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政12年 12月24日	45歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ~4字題)歳 時雨、老後歳 暮	詠進なし	左衛門督	光成		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政13年 1月18日	46歳	御会始	仙洞	鹿樹多佳戀	おひしげるしほのみぎりのま つ人はとははへぬべき千 世のかずかも	飛鳥井中納言	光成	読師：甘露寺一位、講師：重基 朝臣、発声：源三位	有栖川宮本	権中納言藤原実勲	
文政13年 1月24日	46歳	和歌御会始	内裏	松風御琴	まつふく千世の春風かよ ひきてあかぬしらべのつま ごとのこま	左兵衛督	顕孝	読師：日野前大納言、講師：正房、 発声：左衛門督	国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政13年 2月4日	46歳	当座御会	内裏	組題30首(2 字題)夏恋	夕すみはしあながらにまつ つらむ山がつの折のこした るみじよ	左衛門督	光成	講師：隆光朝臣	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政13年 2月19日	46歳	当座御会	仙洞	組題30首(2 ~3字題)恨 絶恋	いひよりたえぬ中となり にけりうらみばかりは今もの こりて	左兵衛督	顕孝	読師：光政	有栖川宮本	実勲	
文政13年 2月22日	46歳	水無瀬宮御 法楽	内裏	組題20首(3 字題)春月朧	かすむこそ春のならひとな がめてもつらや月のおぼろ なる影	民部卿	建房	講師：光政	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政13年 2月22日	46歳	水無瀬宮御 法楽	仙洞	組題20首(2 字題)苗代	□すてしこそふる田をす きかへしははしろしそく時 はきけり	左衛門督	顕孝	読師：隆光朝臣	有栖川宮本	実勲	
文政13年 2月24日	46歳	月次御会	内裏	組題50首(1 ~2字題)早 蕨、初雁	早蕨：けふこずはおひやし つらむ山がつの折のこした る谷のさからび、初雁：秋 風の吹はまたる初雁のけ さめづらし渡る一つら	飛鳥井中納言	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政13年 2月25日	46歳	聖廟御法楽	内裏	組題50首(2 ~3字題)黄 葉	しくれをもまたでや露にち なしの一しほその庭の紅葉	左衛門督	光成	講師：為知	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・禁中聖廟御法 楽・黄葉：(光格合点) 秋 みらし花のはやしのいろ そへて木のまに匂ふは るのよの月、おむべき 花の木のまに夜をのこす かすめる月の有明のかげ (187)
文政13年 2月25日	46歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(2 ~4字題)梅 未開	春きてもかきねの梅のはな よいかにまださきやらぬ色 かをぞまつ	雅久	雅久	読師：正房	有栖川宮本	実勲	
文政13年 3月7日	46歳	当座御会	内裏	組題20首(3 字題)春山家	きてもよみ都は花のちると も軒端の山にのこる桜を	雅久	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政13年 3月18日	46歳	神影供	内裏	花間春月	さきみらしはなのはやしの いろそへて木のまにほふ はるのよのつき	飛鳥井中納言	雅久	読師：駕尾前大納言、講師：為知、 発声：左京大夫	有栖川宮本	権中納言藤原実勲	実勲上・神影供・花間 春月：(光格合点) 秋 みらし花のはやしのいろ そへて木のまに匂ふは るのよの月、おむべき 花の木のまに夜をのこす かすめる月の有明のかげ (22)
文政13年 3月24日	46歳	月次御会	内裏	花巻、田蛙、 風帆	詠進なし	民部卿	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政13年 後3月7日	46歳	当座御会	内裏	組題30首(か りせじなはるの御池のさし の藤なみ	千世かけて咲匂ふいろもふ つらむ山がつの折のこした るみじよ	民部卿	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政13年 後3月16 日	46歳	於修学院御 当座	修学院	春日遅々	詠進なし	雅久	雅久		有栖川宮本		
文政13年 後3月16 日	46歳	於修学院御 当座(後座)	修学院	組題6首(3 ~4字題)	詠進なし	雅久	雅久		有栖川宮本		
文政13年 後3月24 日	46歳	月次御会	内裏	組題5首(1 字題)夏、恋	夏：心あれや夏きて咲るを そ桜わすれぬ春をのこす一 本、恋：日にぞひてつもの おもひを若つしいるにい でやしらせそめまし	左兵衛督	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政13年 4月24日	46歳	月次御会	内裏	新樹露、郭公 待五月、遇不 逢恋	新樹露：桐よりちる露みえ てすしくもなびく若葉の枝 の朝かぜ、郭公待五月： この比はしひび音に鳴ほ とぎすのをかさつきのよる や待らん、遇不逢恋：わ すれしといひてわかれしき ぬぎぬのその職やかぎり成 らん	雅光	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政13年 4月27日	46歳	当座御会	内裏	組題10首(3 字題)	詠進なし	飛鳥井中納言	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本		
文政13年 5月24日	46歳	月次御会	内裏	組題21首(3 ~5字題)連 夜待郭公、夕 郭公	連夜待郭公：ふくるまでま つにねぬよをかかねも山 ほととぎす声のつれな、夕 郭公：村雨ははる夕の 雲間よりやまほととぎす声も らすらん	左衛門督	為脩		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	

文政13年 6月24日	46歳	月次御会	内裏	夏夜月底、瀬 上鯉、翳旅	夏夜月底：くるよらまちい でいみればかげすめる月に なりゆく底のすしき、瀬上 鯉：岩つたふたきのひき にうちそへて鳴たつせみの 声ぞ木ぶかき、翳旅：たび ごろもひとよひとよに立いで しわがふるさとやとをさがる らむ	左兵衛督	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政13年 6月25日	46歳	聖廟御法楽	内裏	組題10首(3 字題) 納涼風	あつき日は影くれそめてゆ ふすみ秋をもまたぬかせ や吹らむ	飛鳥井中納言	顕孝	講師：正房	国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	実勲上・聖廟御法楽・ 納涼風：立よてまじ葉 折敷あつさをもわするふ もの風の涼しさ、(光 格合点) あつき日は、影 がたがきて(影くれそめ て)夕すみ秋をもまた ぬかせや吹らむ(152)
文政13年 6月25日	46歳	聖廟御法楽	仙洞	組題50首(2 ～4字題) 水 辺螢	けちがたきをのが思ひを川 水にうつすほたるやもえあ かすらむ	民部卿	為全	講師：為和	有栖川宮本	実勲	実勲上・禁中聖廟御法 楽・水辺螢：(光格合 点) けちがたきお(を) のが思ひを川水にうつ すほたるやもえあかす らむ、池ひろみ水草かく れにすしくもすだく螢の くれてみゆらむ(151)
文政13年 7月24日	46歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ～4字題) 若 草、寄雲恋	若草：長閑なる春のひかり に雲きえてむらむら青む庭 のわかくさ、寄雲恋：恋す てふあたしうき名は中空に たつしら雲のきえもはてな た	民部卿	顕孝		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲。二首ともに「後 日詠進」(墨書)と注有 (有栖川宮本)	
文政13年 8月24日	46歳	月次御会	内裏	雲取月明、塙 屋月、寄月祝 世	雲取月明：あまのはらみし ゆふ暮の雲きえてひかりさ やかに月はすみけり、塙屋 月：すむかけの月にぞおし む心せなだのしほやにた つるけふりを、寄月祝世： おさまれるよは久かたのゆ く末もかはらぬかげに月や すむらむ	左兵衛督	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政13年 9月9日	46歳	重陽御会	内裏	菊有延年色	はなのいろはつゆにみがき てやちとせのあきもおひせ ずにほふしらく	左衛門督	顕孝		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政13年 9月24日	46歳	月次御会	内裏	組題100首(2 ～4字題) 秋 姿恋、秋旅情	秋姿恋：契りてしこの葉 草も秋たけてうつろふ色 の中ぞかれゆく、秋旅情：ふる 郷を恋ふたびねの野べさ むみ心をしほる夜半のあき 風	左衛門督	雅光		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
文政13年 10月24日	46歳	月次御会	内裏	松露深、水鳥 多、相思恋	松露深：たちならぶこずる にふかくをく露のはな咲松 の色もさむけし、水鳥多： うちむかふみづひろ沢のい げの面はあさるもおほきを しがもの声、相思恋：語と もにまさるおもひの中なれ ばかはすこと葉のたがふよ ぞなき	飛鳥井中納言	雅久		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	
文政13年 11月28日	46歳	月次御会	内裏	組題20首(2 ～4字題) 月 照雪、葉草帯 雪	詠進なし	左兵衛督	俊明		国会本内裏・有栖川宮 本	実勲	
天保1年 12月24日	46歳	月次御会	内裏	早梅句、歳中 菊、歳上苔	早梅句：咲残る菊より後は 花なしとおもふ冬木の梅か ほるなり、歳中菊：をのが 世の春まかねて年の内に 鳴ねあかぬ底のうぐひす、 歳上苔：よる波のかゝるい はほはむす苔のかはく間も なくぬれて色こき	為全	為全		国会本内裏・有栖川宮 本	権中納言藤原実勲	